

ヒアリング調査のまとめ

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

2015年10月から2016年9月までの実証運行、2016年10月からの本格運行について、かめバスの増発やダイヤの改善等、利用者の利用状況や意向を把握し、実証運行の評価や今後の公共交通を検討する際の基礎データとする。

(2) 調査の概要

①調査対象者・調査方法

榎原神宮駅東口バス停および飛鳥駅バス停において、「赤かめ」利用者を対象にヒアリング調査を行った。

②調査日

【調査1】実証運行

- ・平日：2015（H27）年11月6日（金）
- ・休日：2015（H27）年11月7日（土）

【調査2】実証運行

- ・平日：2016（H28）年5月20日（金）
- ・休日：2016（H28）年5月21日（土）

【調査3】本格運行

- ・平日：2016（H28）年11月11日（金）
- ・休日：2016（H28）年11月12日（土）

2. 調査の結果

(1) 回答者の属性

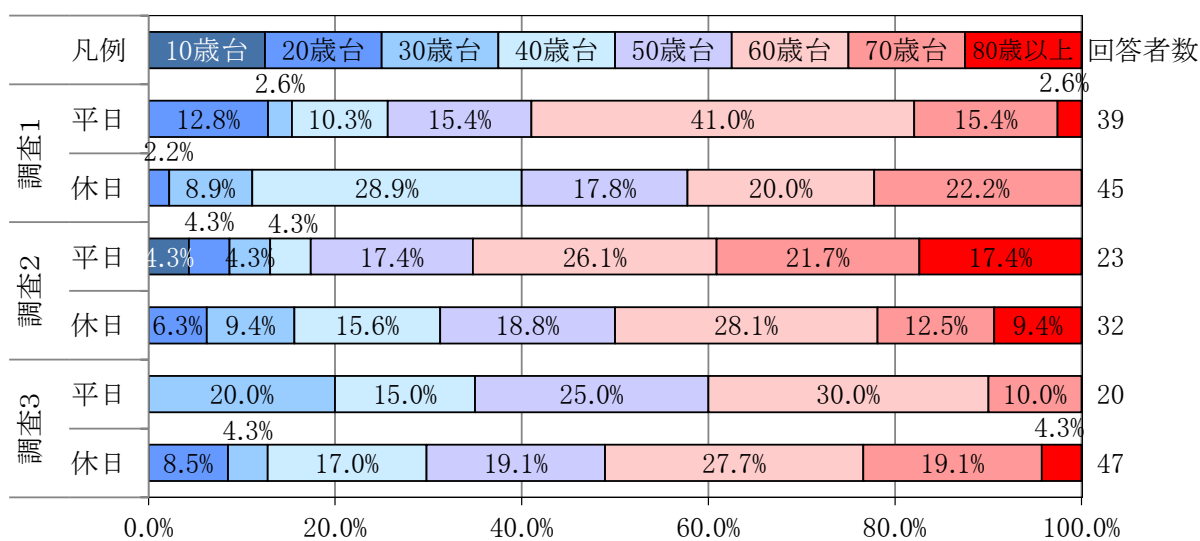
①サンプル数

榎原神宮前駅バス停では調査1は55人、調査2は41人、調査3は41人、飛鳥駅バス停では調査1は35人、調査2は14人、調査3は26人から利用状況および意向を把握することができた。

調査場所	調査1 H27.11月			調査2 H28.5月			調査3 H28.11月		
	平日	休日	計	平日	休日	計	平日	休日	計
榎原神宮前駅	30	25	55	16	25	41	17	24	41
飛鳥駅	11	24	35	7	7	14	3	23	26
合計	41	49	90	23	32	55	20	47	67

②年齢

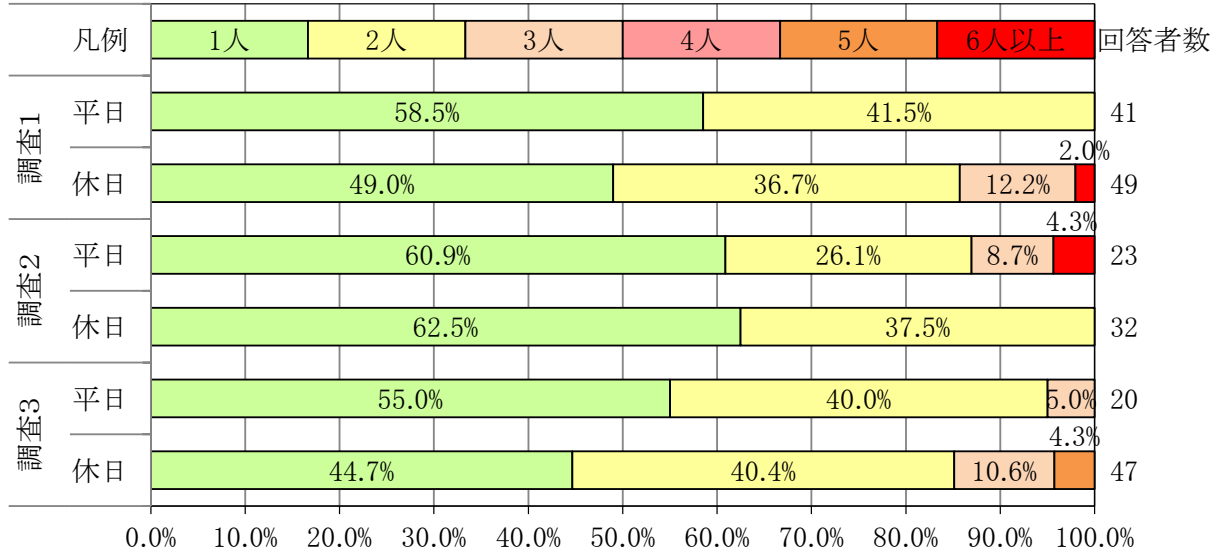
調査1、調査2、調査3ともに60歳台の利用が多い。調査1と調査2は、休日よりも平日の利用の方が高齢者の割合が多いなど、利用者の年齢の傾向は同じである。



※構成比は無回答除く

③同行人数

調査1、調査2、調査3ともに1人または2人の利用が多く、同行人数について傾向は同じである。

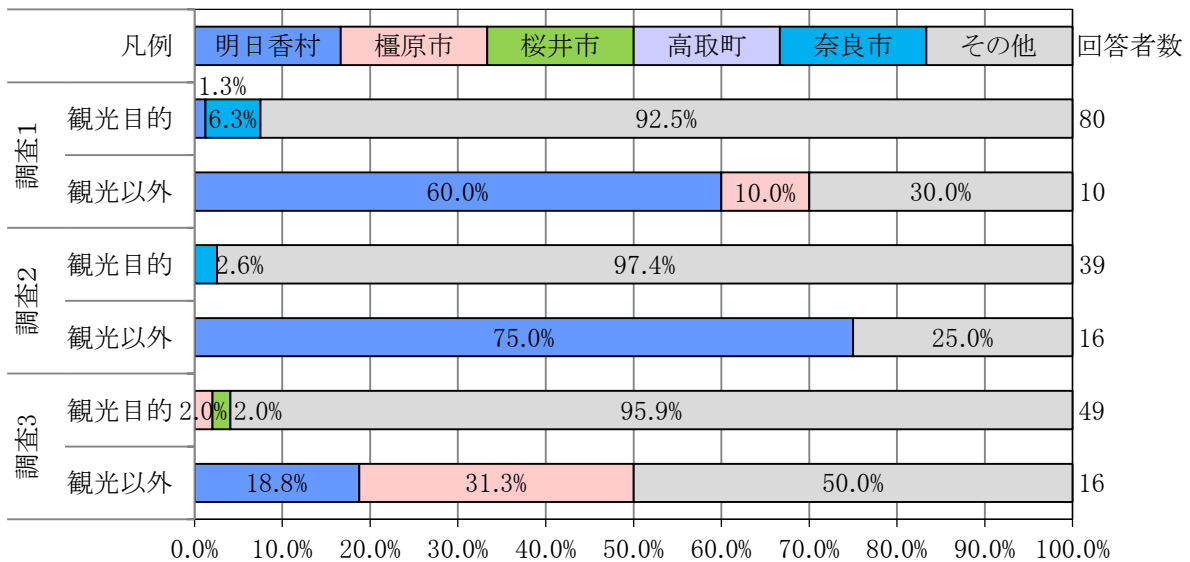
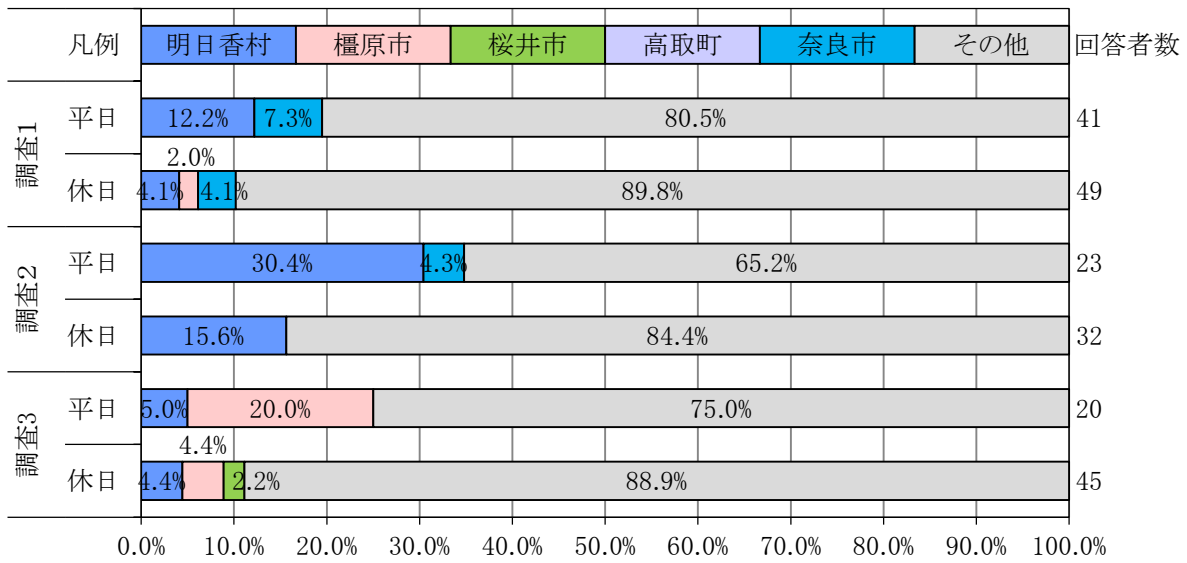


④居住地

明日香村民の利用は5～30%程度であり、多くが奈良県外からの来訪者の利用となっている。

観光目的の来訪者に着目すると、調査1、調査2、調査3ともに9割以上が奈良県外からの来訪である。観光目的以外については、明日香村民、橿原市民の利用が半数を占める。

実証実験から1年が経過し、本格運行を開始している調査3では、明日香村民に加えて沿線の橿原市民にも生活交通での利用が定着してきていると推察できる。

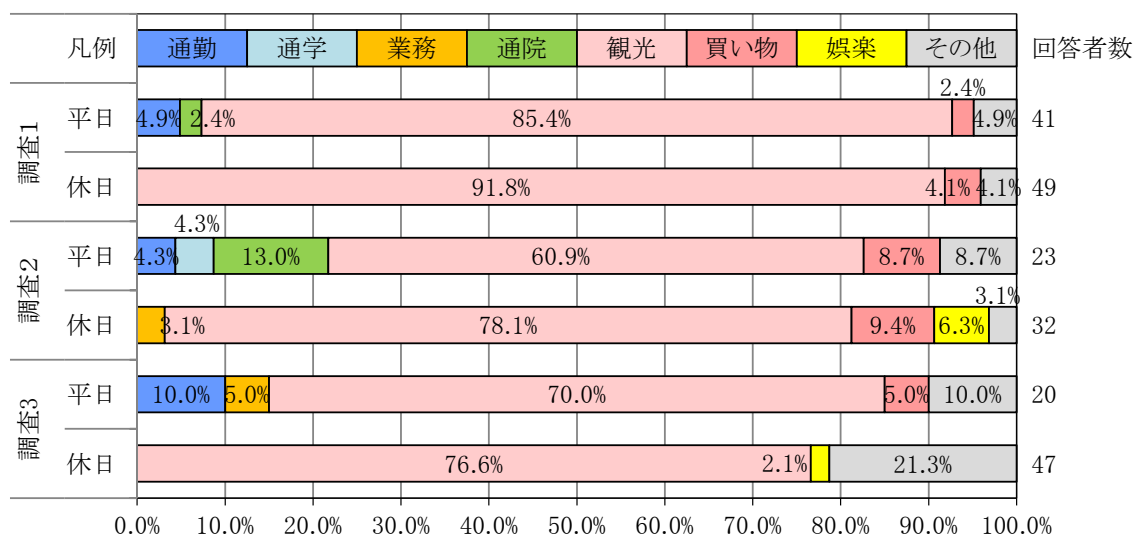


(2) かめバスの利用状況

①利用目的

調査1・調査2・調査3、平日・休日ともに、観光利用が多い。

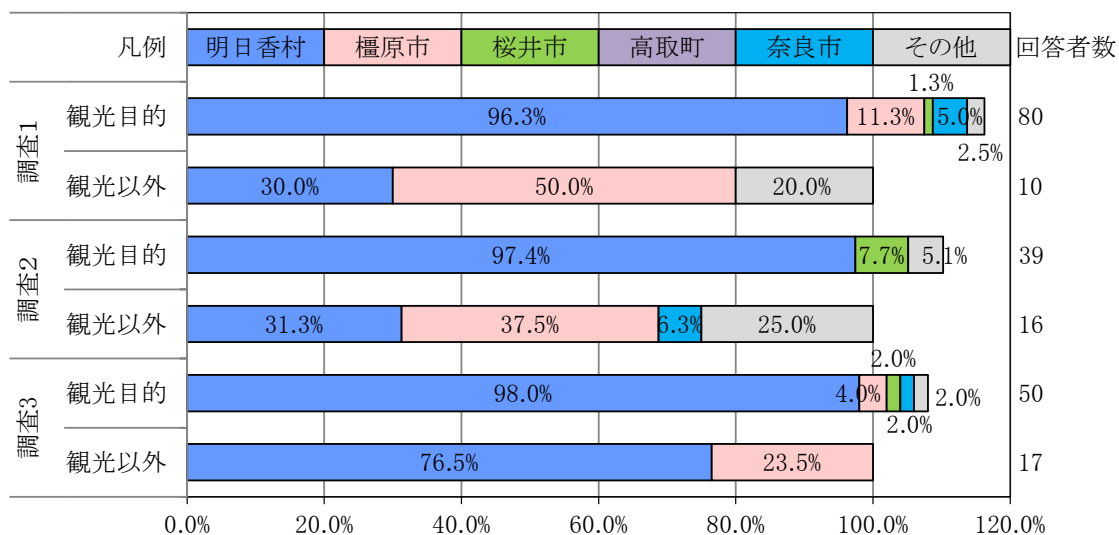
平日は、観光利用のほか、通勤、通学、業務、通院、買い物の目的にも利用されている。



②外出目的地

観光目的の方については、調査1、調査2、調査3ともに9割以上が明日香村への観光である。

観光目的以外の方については、明日香村に加え、病院や商業店舗が立地している橿原市への来訪が多い。

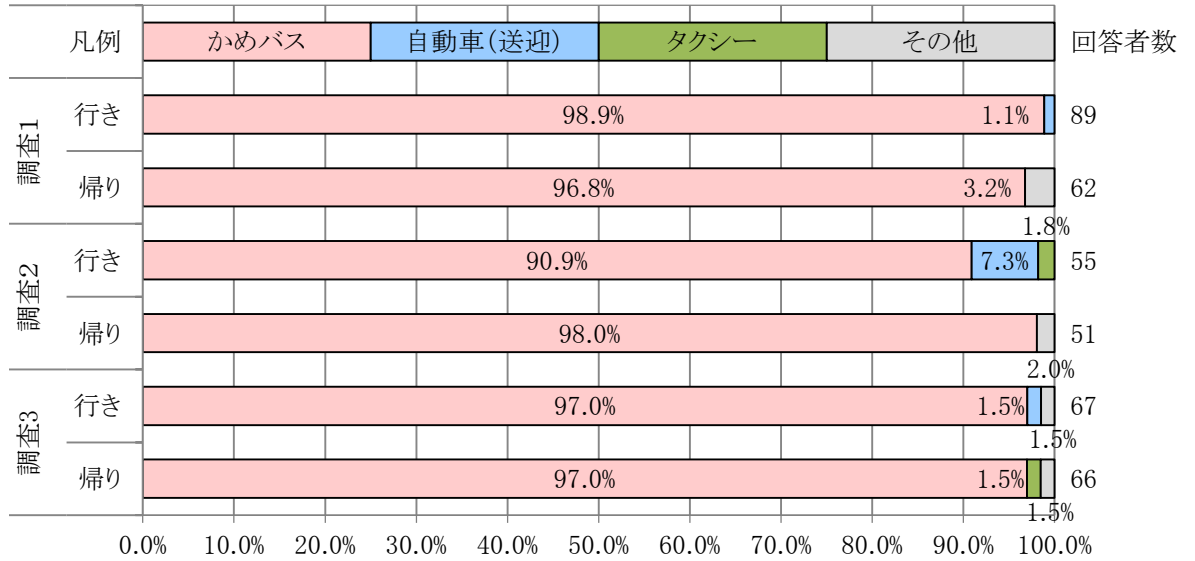


※複数回答、構成比は回答者数に対する比率

③村内での交通手段

村内での交通手段について、調査1、調査2、調査3ともに、「赤かめ」周遊バス利用者は、ほとんどが行きも帰りも利用している。

人数は少ないが、行きのみ家族に自動車送迎してもらっている明日香村在住者がいる。

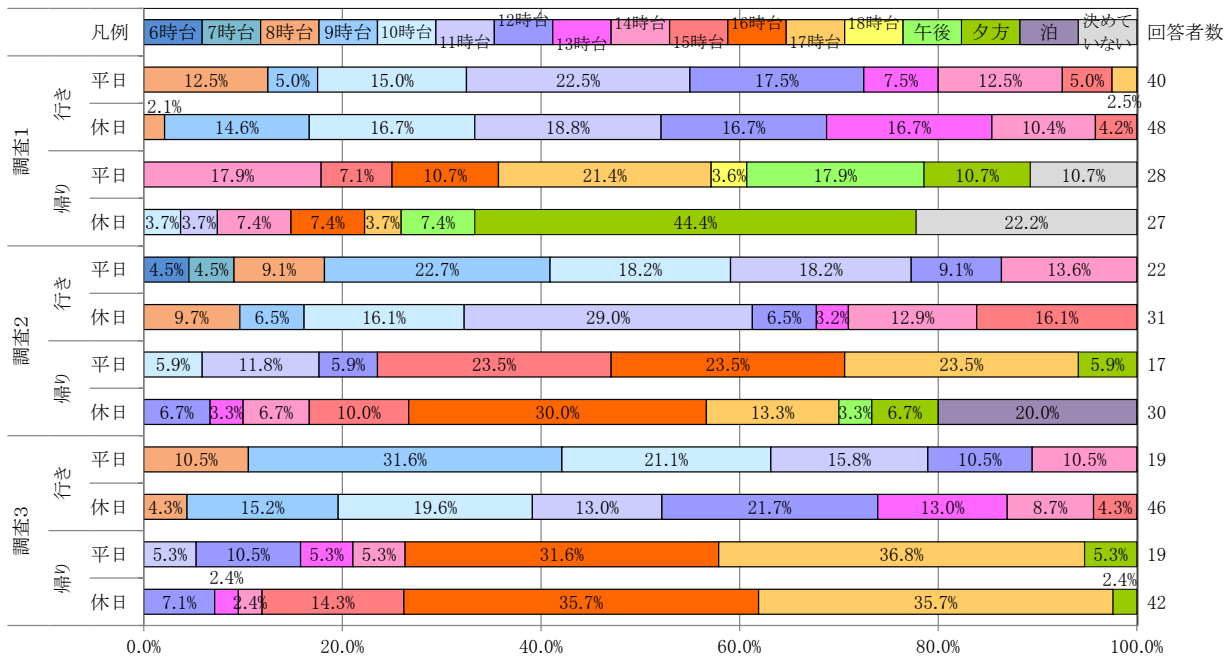


※構成比は無回答除く

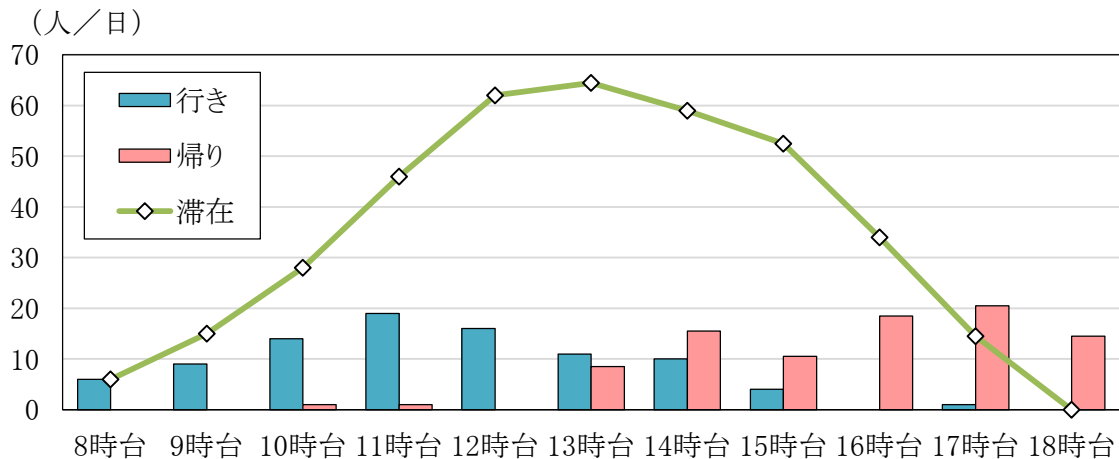
④利用時間

「赤かめ」周遊バスの利用時間について、行きは、調査1、調査2は、11時台前後が多く、調査3は9時～10時前後が多い。帰りは、調査1、調査2、調査3ともに16時～17時前後が多く、バス利用時間の傾向は同じである。

しかし、調査1、調査3は観光シーズンであったために、13時～14時に滞留のピークがきているが、調査2は観光オフシーズンであったため、滞留のピークが無い状況である。

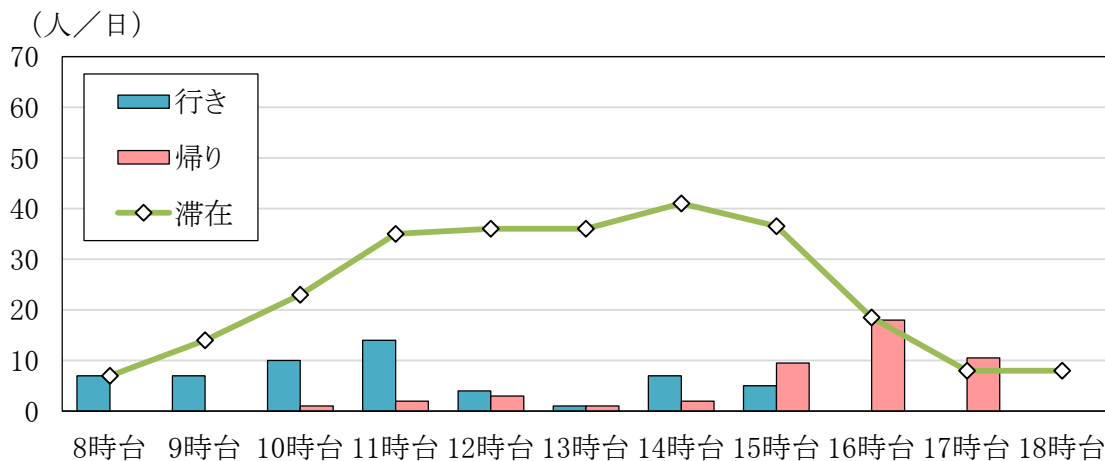


【調査1】



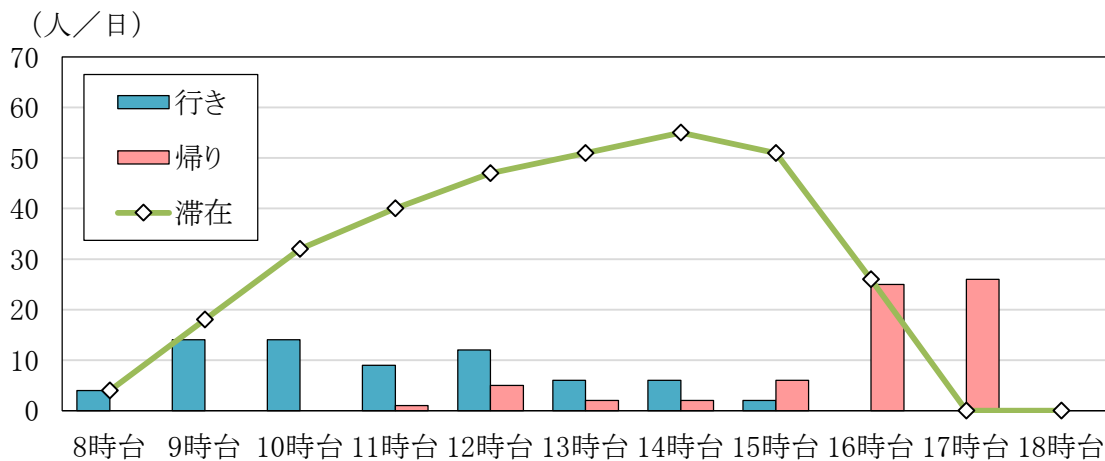
※行きの「無回答」については、利用の多い11時～12時に割振り、帰りの「夕方」は16時～18時、「午後」「決めていない」「無回答」については13時～18時に割振り図示している。

【調査2】



※行きの「無回答」については利用の多い10時～11時に割振り、帰りの「夕方」は16時、「無回答」については15時～17時に割振り図示している。

【調査3】



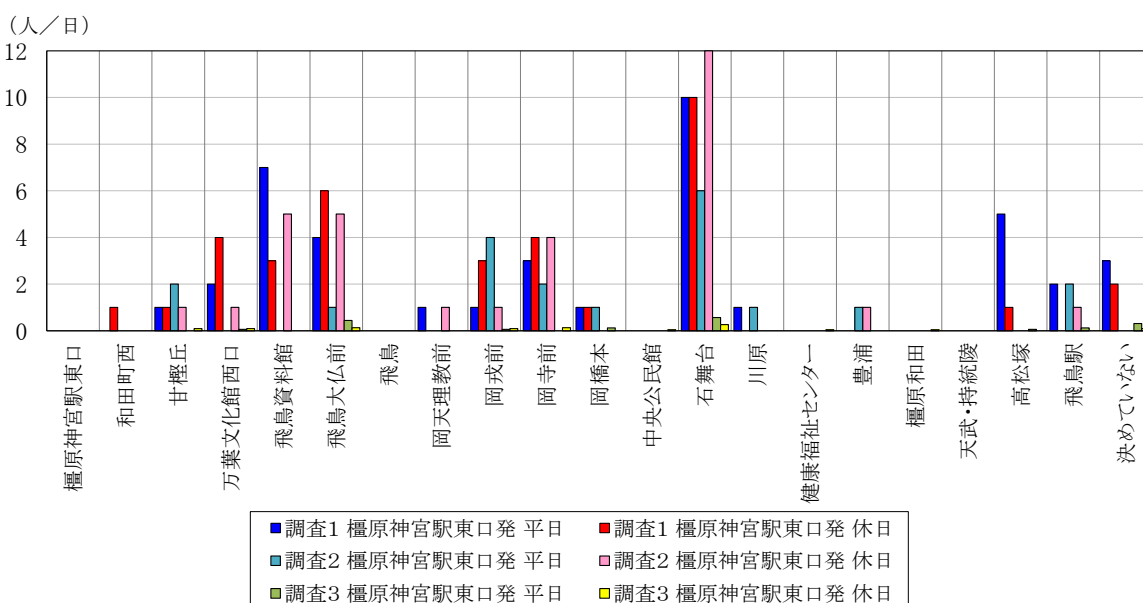
※行きの「無回答」については、利用の多い9時～10時に割振り、帰りの「夕方」「無回答」については、利用の多い16時～17時に割振り図示している。

⑤利用バス停

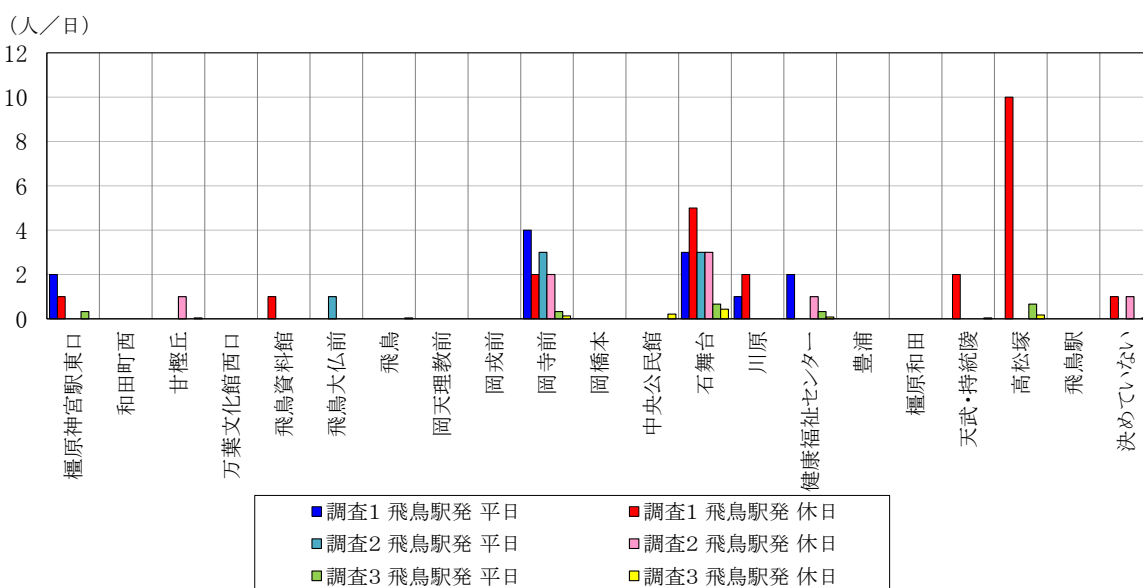
「赤かめ」周遊バスの利用バス停について、橿原神宮前駅発については、調査1・調査2・調査3、平日・休日ともに、「石舞台」の利用が最も多く、次いで「飛鳥大仏前」の利用が多い。調査1、調査2では「飛鳥資料館」の利用も多い。

飛鳥駅発については、調査1・調査2・調査3、平日・休日ともに、「石舞台」、「岡寺前」の利用が多く、高松塚でイベント等がある日については「高松塚」の利用が多い。

【橿原神宮前駅発】複数回答



【飛鳥駅発】複数回答

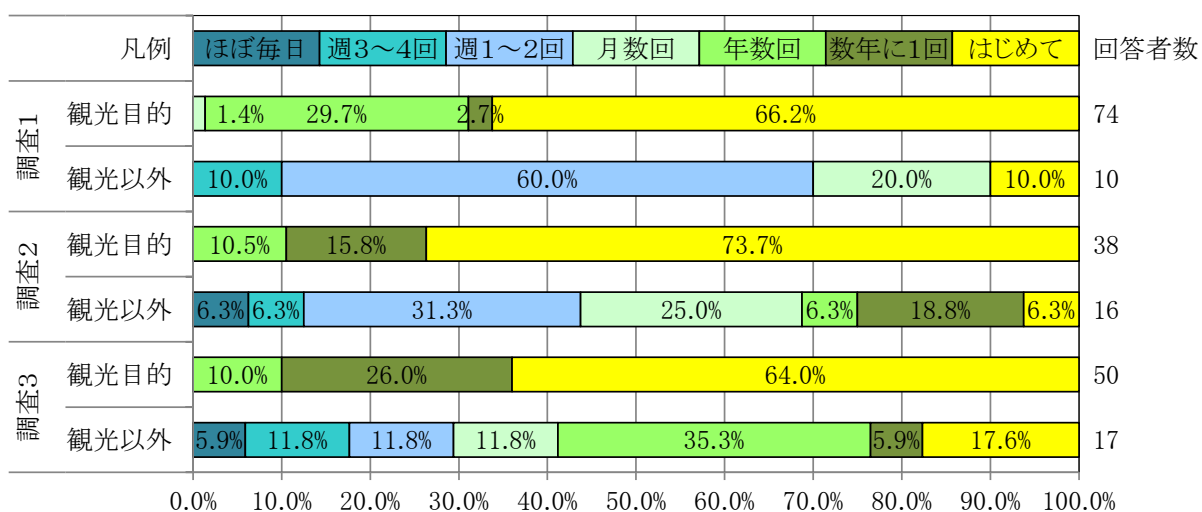


⑥利用頻度

「赤かめ」周遊バスの利用頻度について、観光目的での利用は、調査1、調査2、調査3ともに約7割が「はじめての利用」となっている。

観光以外の地元住民等については、調査1、調査2は「週に1～2回」が多く、調査3は「年数回」が多い。

実証実験から1年が経過し、本格運行を開始している調査3では、ある程度新しいダイヤが定着し、これまで利用の無かった方の利用が増加しているものと推察できる。



※構成比は無回答除く

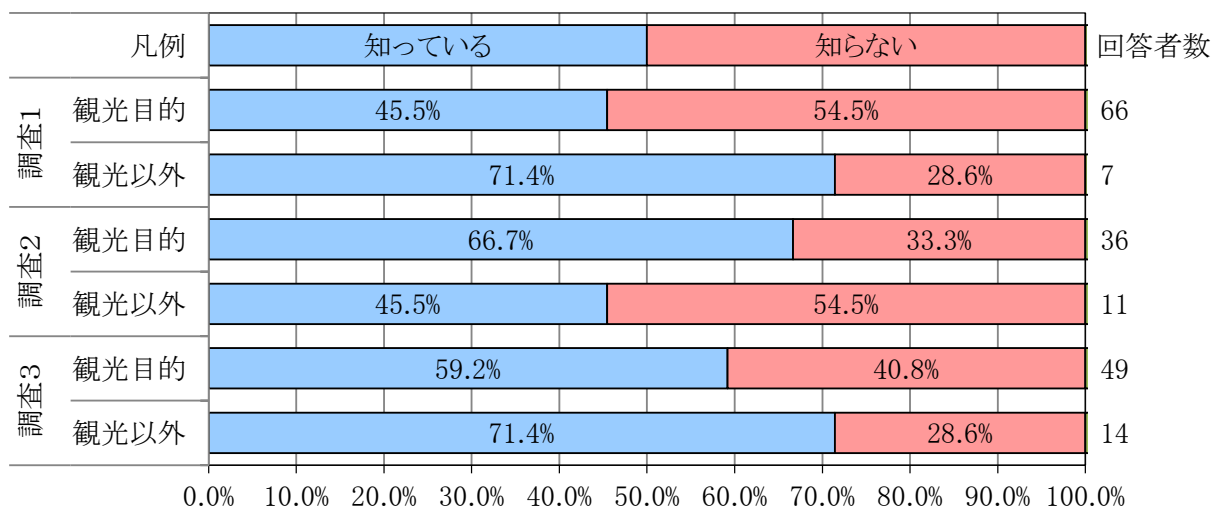
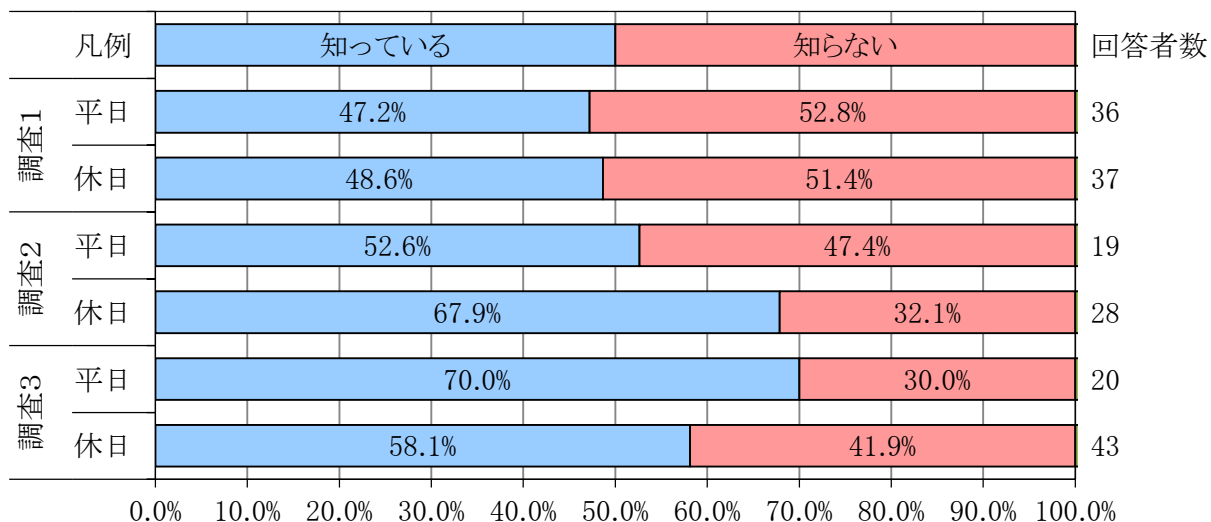
明日香村村民（調査1、調査2、調査3の計）

利用頻度	人数
1 ほぼ毎日	2人
2 週3～4回	2人
3 週1～2回	11人
4 月数回	6人
5 年数回	0人
6 数年に1回	1人
7 はじめて	0人
計	22人

⑦ 1日フリー乗車券の認知度

1日フリー乗車券の認知度について、観光目的の方の認知度は、調査1は半数以下であるが、調査2は6割を超えており、調査3でも6割となっている。近鉄橿原神宮前駅の改札出口での案内強化等により、認知度が高まってきているといえる。

地元住民を含む観光以外の方は、調査1、調査3は7割を超えている。

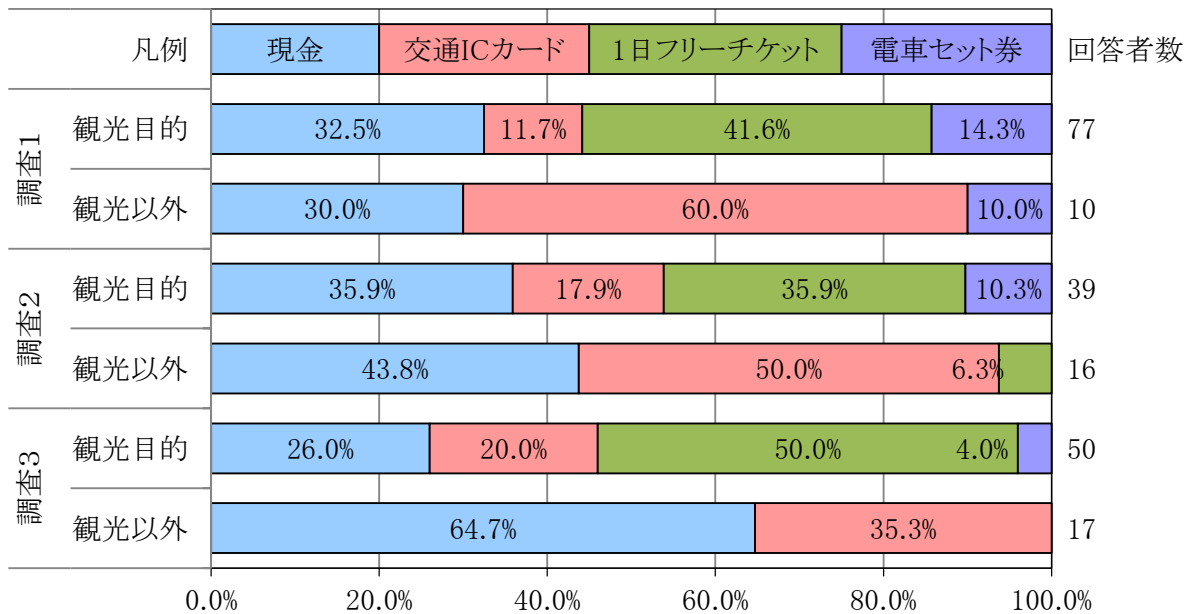
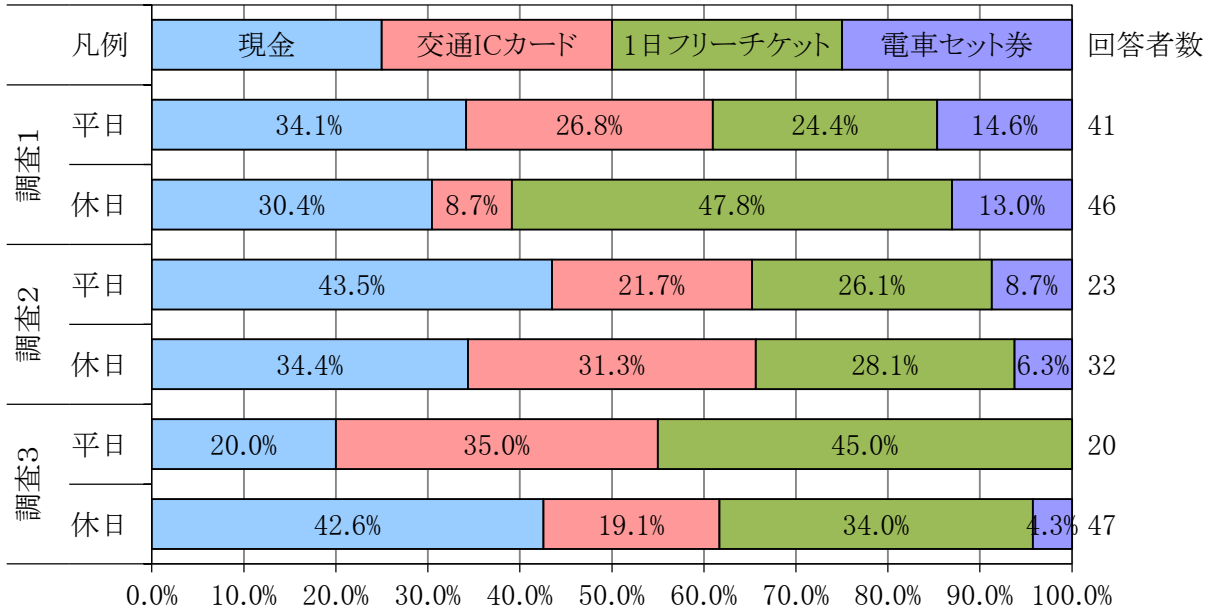


※構成比は無回答除く

⑧支払方法

かめバスの支払方法について、観光目的の方は、調査1、調査2は約4割、調査3は半数が「1日フリー乗車券」の利用である。

一方、地元住民を含む観光以外の目的の方は、調査1、調査2は半数以上、調査3は4割弱が「交通ICカード」の利用となっている。調査3では、現金利用割合が増加しており、これまでバスをあまり利用されていなかった方が利用し始めていると推察できる。



※構成比は無回答除く

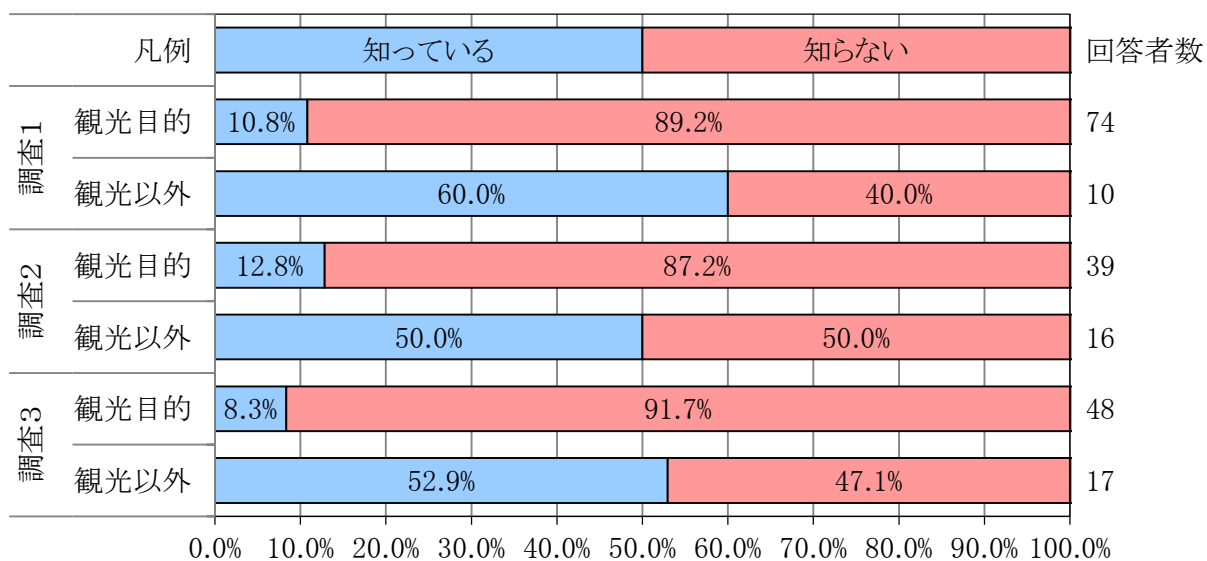
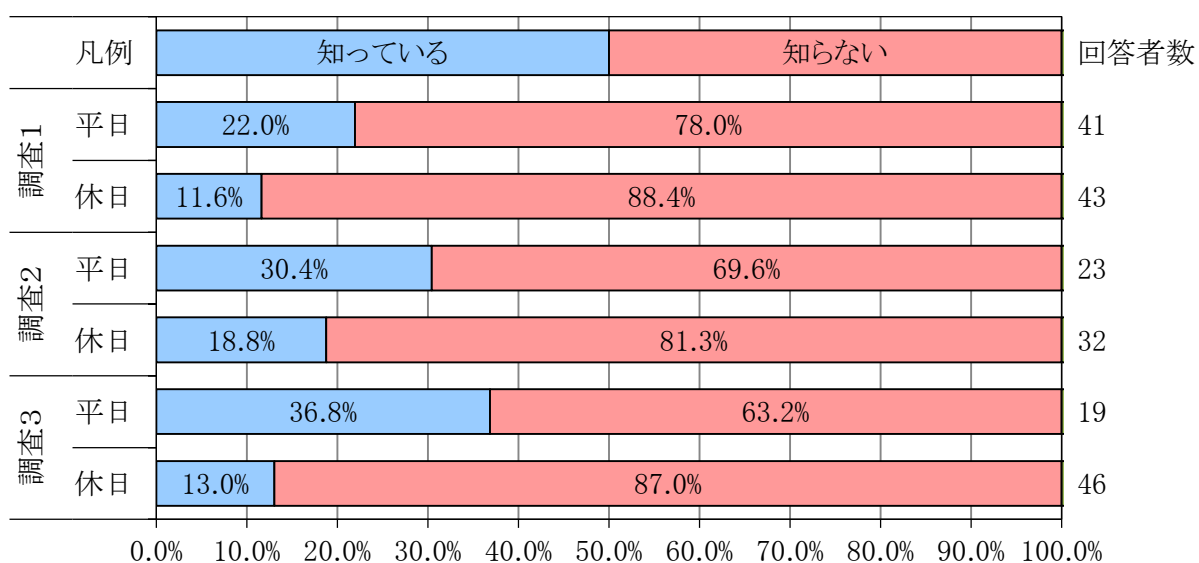
(3) かめバスの実証運行

①認知度

実証運行の認知度について、観光目的の方については、調査1、調査2、調査3ともに「知っている」が約1割にとどまっている。

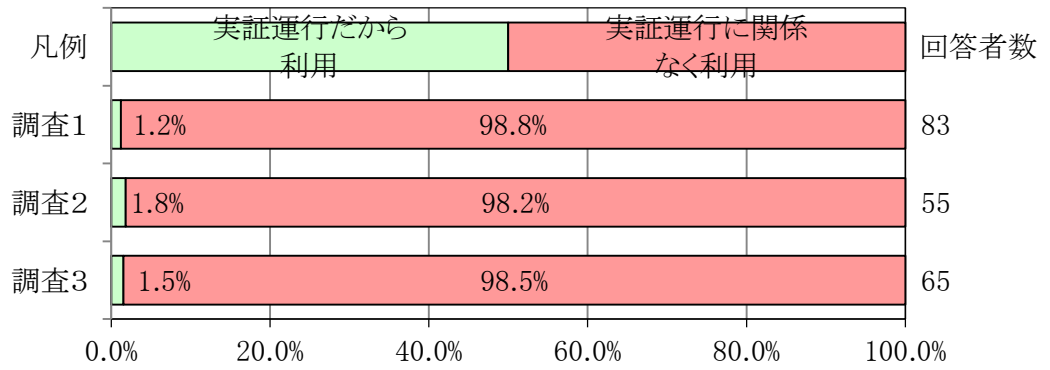
一方、観光目的以外の地元住民等は、調査1、調査2、調査3ともに、半数以上が「知っている」となっている。なお、明日香村村民22人については、15人（約7割）が「知っている」としている。

調査1、調査2、調査3で同じ傾向にある。



②実証運行と利用の関係

「実証運行だから利用」は、調査1、調査2、調査3ともに1人となっており、他の方は「実証運行に関係なく利用」となっている。調査1、調査2、調査3で同じ傾向にある。(調査3では本格運行だが同等に扱った)

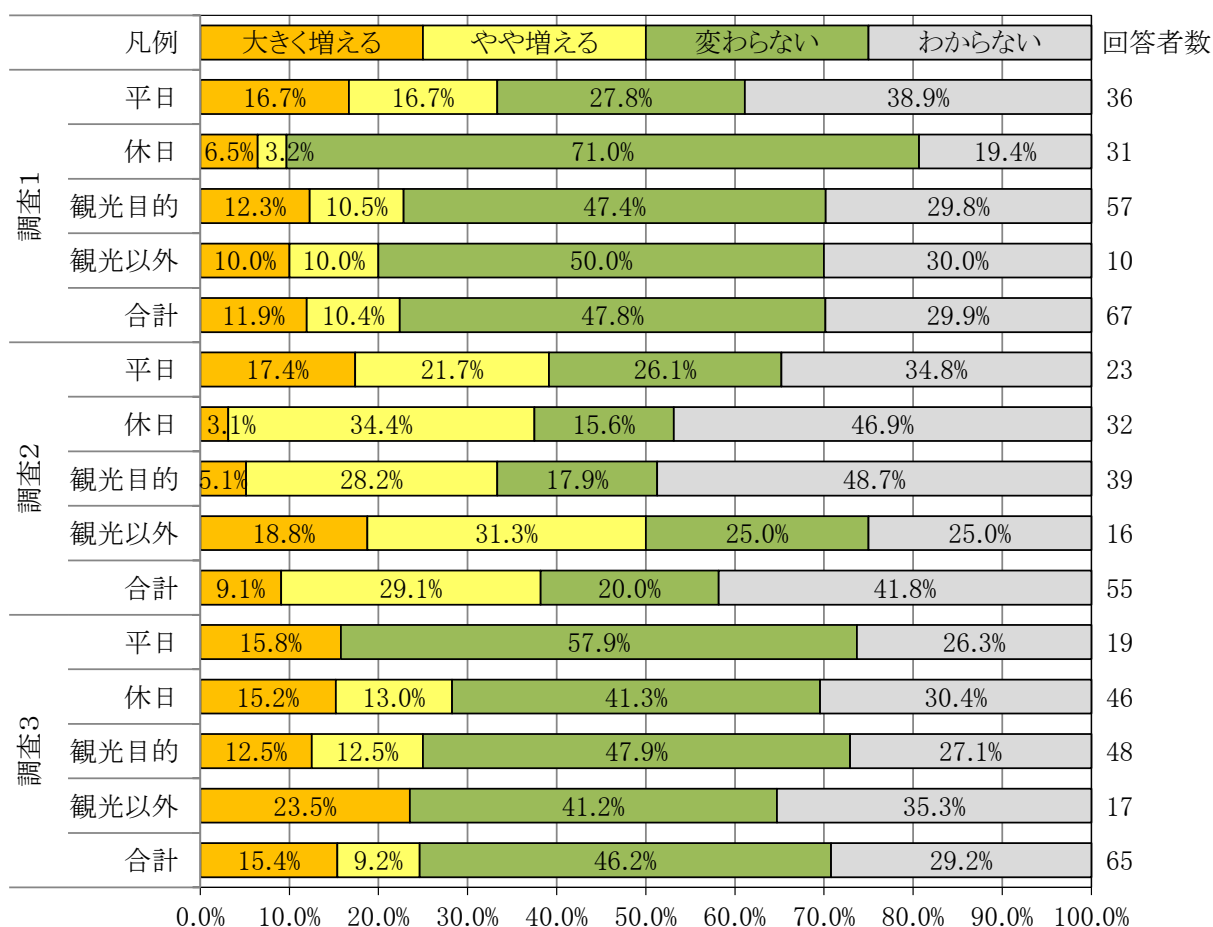


※構成比は無回答除く

③実証運行の影響

実証運行のかめバス利用への影響について、実証運行を継続した場合、「大きく増える」は調査1、調査2、調査3ともに1割前後である。「やや増える」は、調査1は約1割であったのが、調査2では約3割に増えたが、調査3でまた約1割に減っている。

また、地元住民を含む観光以外において、「大きく増える」「やや増える」が調査2では増加しており、社会実験期間中に運行本数の多さなどの便利さを享受できているのではないかと推察できる。しかし、調査3では「変わらない」が増えており、運行本数が増加し利便性は向上したが、外出機会（バス利用回数）の増加には至っていないと考えられる。

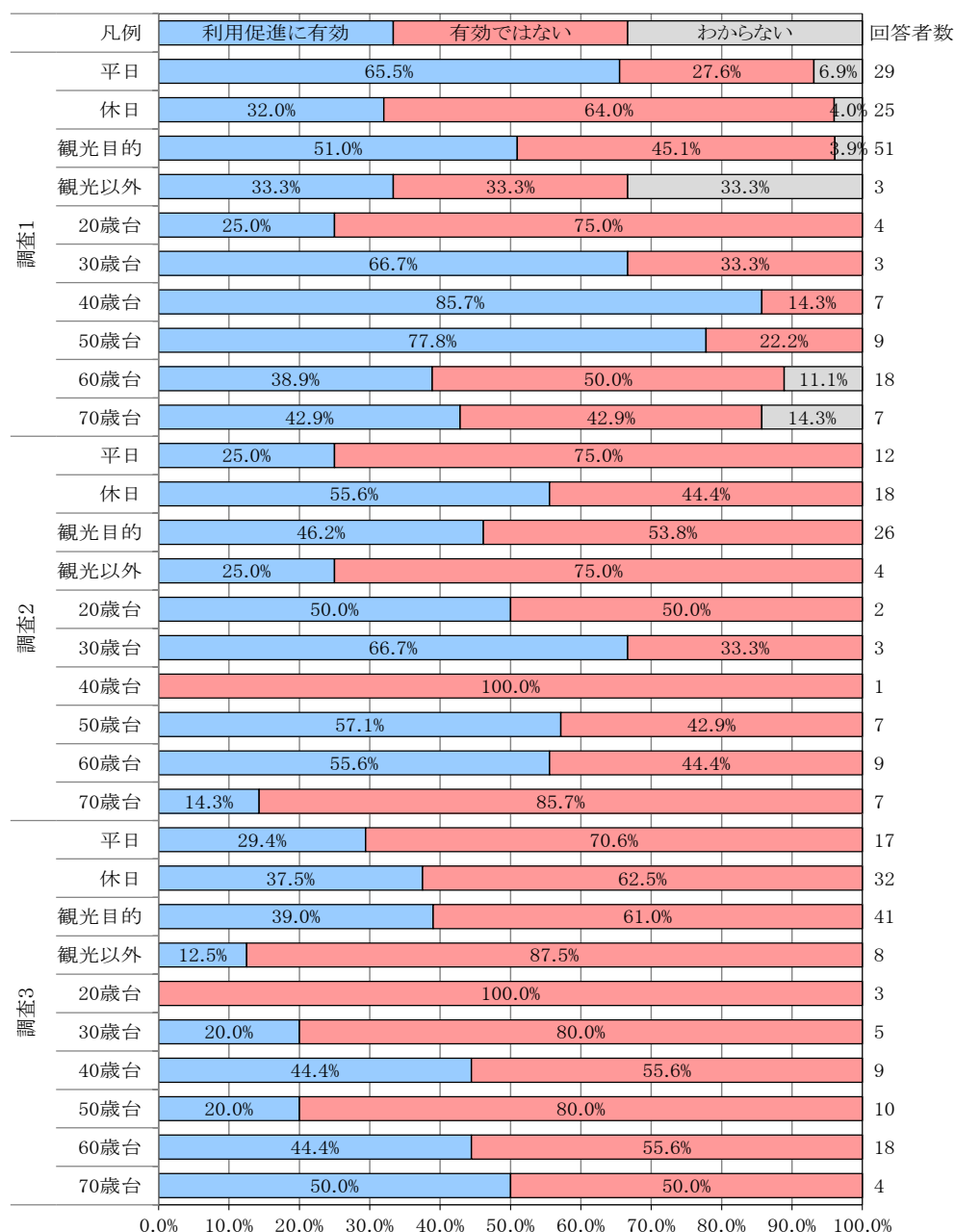


※構成比は無回答除く

④施設共通チケットに関する意向

施設共通チケットが「利用促進に有効」との回答は、調査1は休日より平日の方が多いが、調査2、調査3では平日よりも休日の方が多い。

調査1、調査2、調査3ともに観光以外の方よりも観光目的の方が多い。また、調査1、調査2は30歳台の方が7割弱と多いが、調査3では60歳台、70歳台の方が多い。



※構成比は無回答除く

※回答者数が少ない項目については、参考までに図示する

1 実証運行時（2016年5月）ヒアリング調査結果

(1) 回答者の属性

① サンプル数

檀原神宮前駅バス停では41人、飛鳥駅バス停では14人から利用状況および意向を把握することができた。

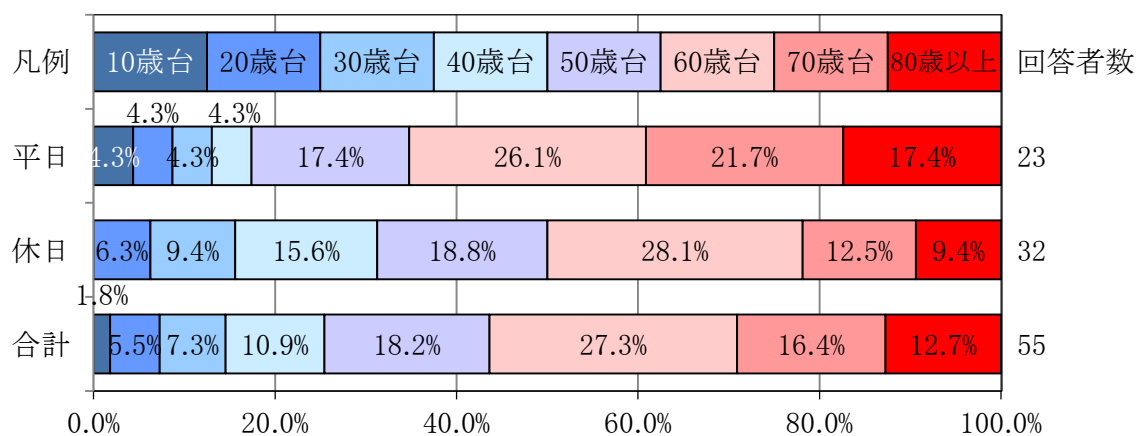
表 サンプル数

調査場所	平日	休日	計
檀原神宮前駅	16	25	41
飛鳥駅	7	7	14
合計	23	32	55

② 年齢

平日、休日ともに60歳台の利用が最も多く、休日よりも平日の利用の方が高齢者の割合が多い。

	平日	構成比	休日	構成比	合計	構成比
10歳台	1	4.3%	0	0.0%	1	1.8%
20歳台	1	4.3%	2	6.3%	3	5.5%
30歳台	1	4.3%	3	9.4%	4	7.3%
40歳台	1	4.3%	5	15.6%	6	10.9%
50歳台	4	17.4%	6	18.8%	10	18.2%
60歳台	6	26.1%	9	28.1%	15	27.3%
70歳台	5	21.7%	4	12.5%	9	16.4%
80歳以上	4	17.4%	3	9.4%	7	12.7%
合計	23	100.0%	32	100.0%	55	100.0%

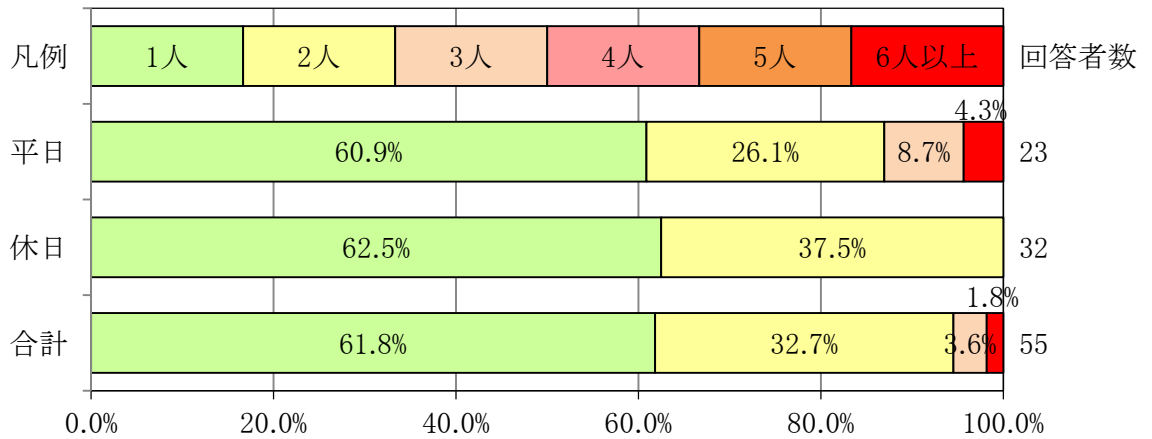


※構成比は無回答除く

③同行人数

平日、休日ともに1人または2人の利用が多い。

	平日	構成比	休日	構成比	合計	構成比
1人	14	60.9%	20	62.5%	34	61.8%
2人	6	26.1%	12	37.5%	18	32.7%
3人	2	8.7%	0	0.0%	2	3.6%
4人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6人以上	1	4.3%	0	0.0%	1	1.8%
合計	23	100.0%	32	100.0%	55	100.0%



④居住地

観光目的の39人について、9割以上が奈良県外からの来訪である。

観光以外の16人については、明日香村12人（岡5人、豊浦1人、飛鳥2人、祝戸1人、奥山1人、不明2人）、東大阪市1人（業務利用）、大阪市1人（大学の課題のスケッチ）、和泉市1人（研修）、奈良県川上村1人（その他利用）となっている。

※利用目的については、後頁参照

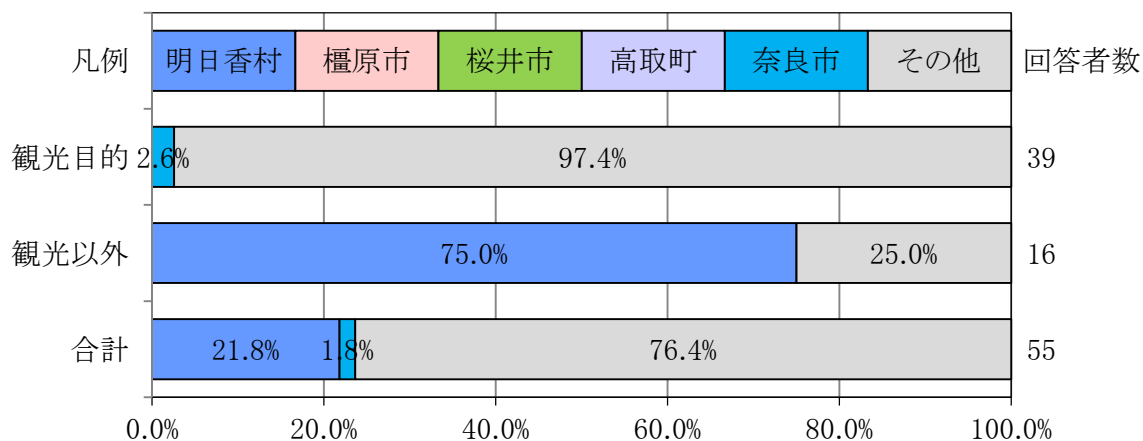
居住地	観光目的	構成比	観光以外	構成比	合計	構成比
明日香村	0	0.0%	12	75.0%	12	21.8%
橿原市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
桜井市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
高取町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
奈良市	1	2.6%	0	0.0%	1	1.8%
その他	38	97.4%	4	25.0%	42	76.4%
合計	39	100.0%	16	100.0%	55	100.0%

「その他」の居住地

大阪府	8
京都府	5
兵庫県	1
奈良県	2
愛知県	3

広島県	1
岡山県	1
静岡県	1
東京都	3
千葉県	1

神奈川県	4
北海道	1
アメリカ	2
合計	33



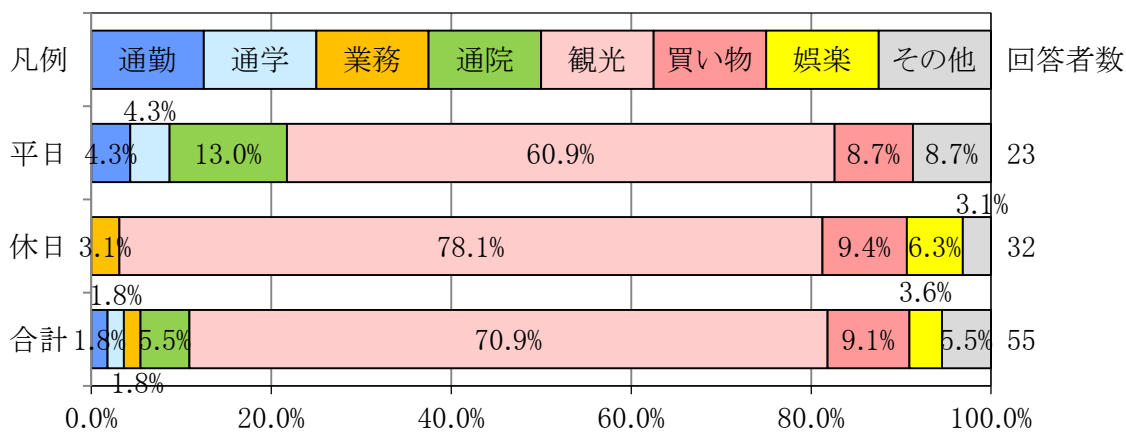
(2) かめバスの利用状況

①利用目的

平日、休日ともに観光利用が多く、平日は約6割、休日は約8割を占めている。
平日は、観光利用のほか、通勤、通学、通院、買い物の目的にも利用されている。

利用目的	平日	構成比	休日	構成比	合計	構成比
通勤	1	4.3%	0	0.0%	1	1.8%
通学	1	4.3%	0	0.0%	1	1.8%
業務	0	0.0%	1	3.1%	1	1.8%
通院	3	13.0%	0	0.0%	3	5.5%
観光	14	60.9%	25	78.1%	39	70.9%
買い物	2	8.7%	3	9.4%	5	9.1%
娯楽	0	0.0%	2	6.3%	2	3.6%
その他	2	8.7%	1	3.1%	3	5.5%
合計	23	100.0%	32	100.0%	55	100.0%

「その他」の利用目的	平日	休日
スケッチ(大学の課題)	1	
研修		1
合計	1	1



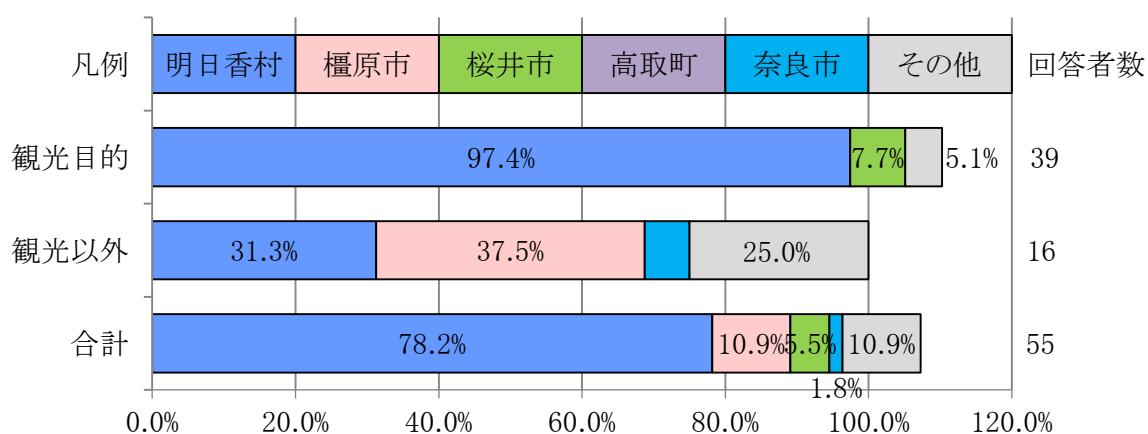
②外出目的地

観光目的の39人については、明日香村への観光のほか、1割弱が桜井市へ来訪している。

観光以外の16人の外出目的地については、明日香村5人、橿原市6人、奈良市1人、その他4人（大阪市1人、京都府1人、大和高田市1人、不明1人）となっている。

外出目的地	観光目的	構成比	観光以外	構成比	合計	構成比
明日香村	38	97.4%	5	31.3%	43	78.2%
橿原市	0	0.0%	6	37.5%	6	10.9%
桜井市	3	7.7%	0	0.0%	3	5.5%
高取町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
奈良市	0	0.0%	1	6.3%	1	1.8%
その他	2	5.1%	4	25.0%	6	10.9%
合計	43	110.3%	16	100.0%	59	107.3%
回答者数	39	100.0%	16	100.0%	55	100.0%

※複数回答



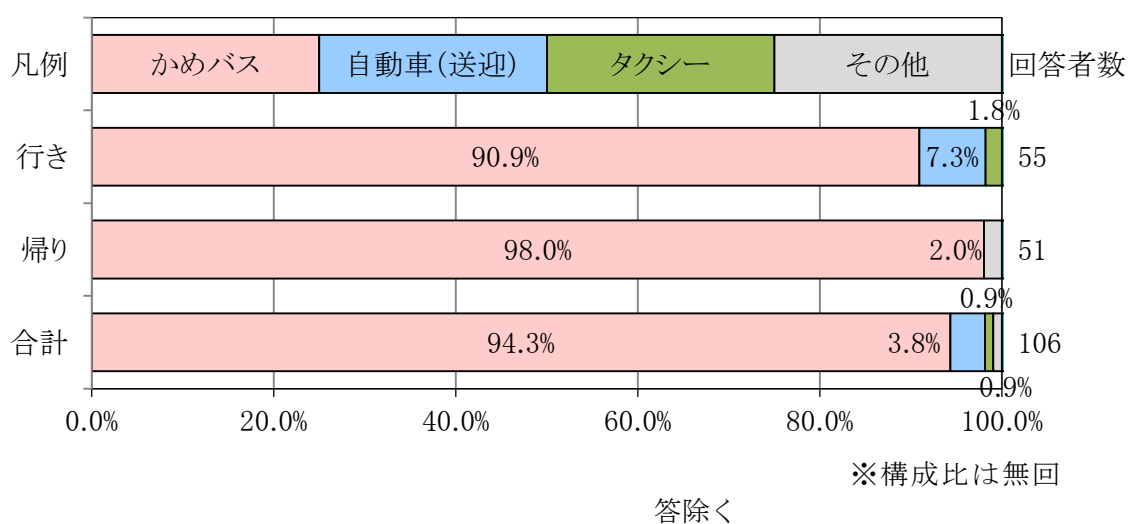
※構成比は回答者数に対する比率

③村内での交通手段

村内での交通手段について、「赤かめ」周遊バス利用者は、ほとんどが行きも帰りも利用している。

なお、行きにタクシーを利用したのは岡在住で通院利用の方、自動車（送迎）の4人は、明日香村在住で通院利用1人、飛鳥在住で通学利用1人、岡在住で娯楽目的1人、奥山在住で買い物利用1人、帰り徒歩は大阪府から観光で来訪している方である。

交通手段	行き	構成比	帰り	構成比	合計	構成比
かめバス	50	90.9%	50	98.0%	100	94.3%
自動車(送迎)	4	7.3%	0	0.0%	4	3.8%
タクシー	1	1.8%	0	0.0%	1	0.9%
徒歩	0	0.0%	1	2.0%	1	0.9%
合計	55	100.0%	51	100.0%	106	100.0%
無回答	0		4		4	

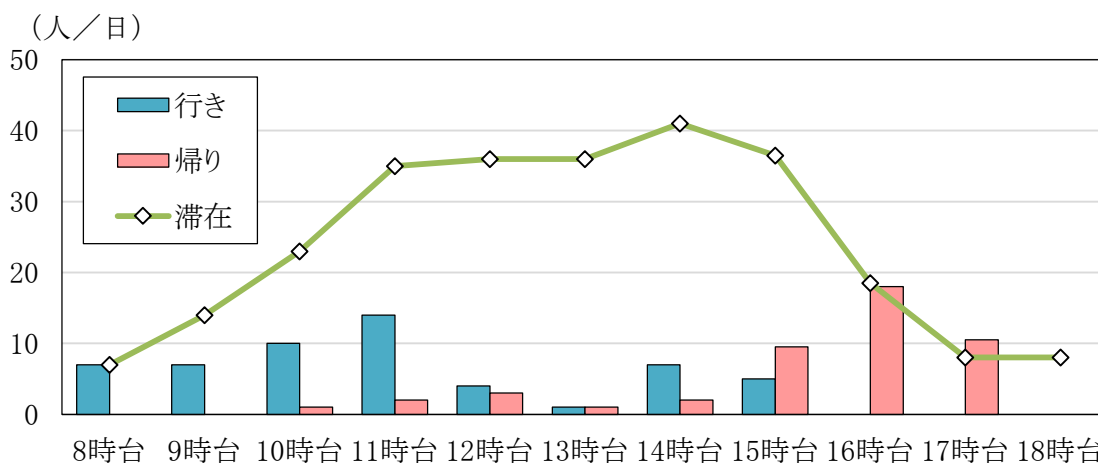
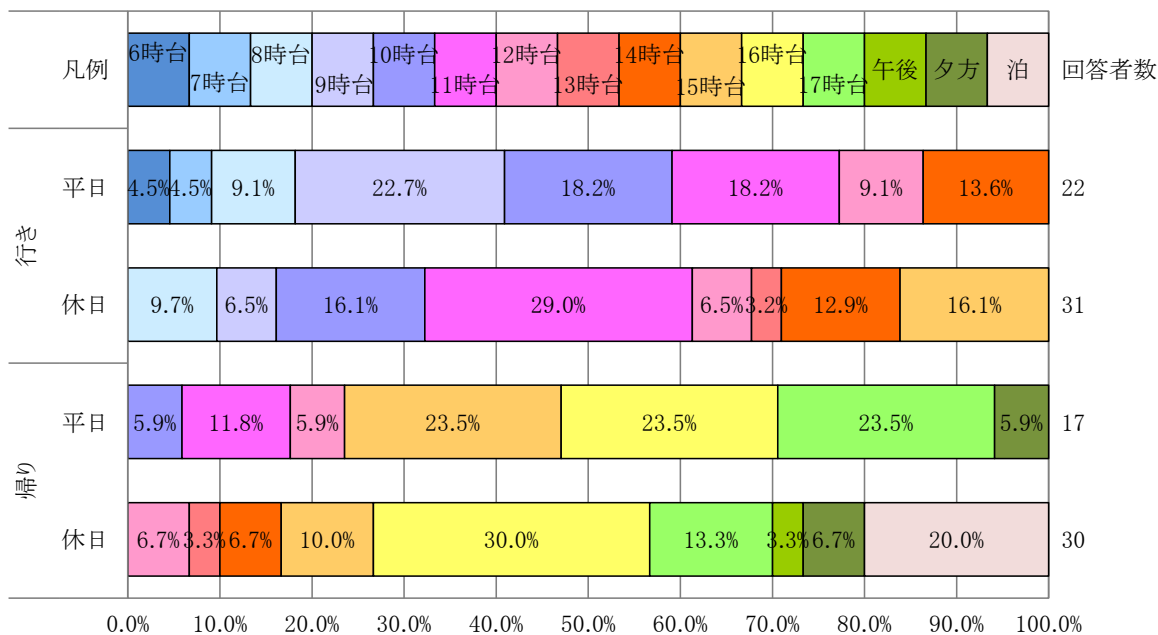


④利用時間

「赤かめ」周遊バスの利用時間について、行きは9時～11時の利用が多く、休日は10時～11時の利用が多い。

帰りは、15時台からの利用が多くなり、特に休日は、宿泊の方の割合も多い。

「赤かめ」周遊バス利用者の明日香村での滞在は、14時台がピークとなっている。



※行きの「無回答」については利用の多い10時～11時に割振り、帰りの「夕方」は16時、「無回答」については15時～17時に割振り図示している。

【行き】

	平日	構成比	休日	構成比	合計	構成比
6時台	1	4.5%	0	0.0%	1	1.9%
7時台	1	4.5%	0	0.0%	1	1.9%
8時台	2	9.1%	3	9.7%	5	9.4%
9時台	5	22.7%	2	6.5%	7	13.2%
10時台	4	18.2%	5	16.1%	9	17.0%
11時台	4	18.2%	9	29.0%	13	24.5%
12時台	2	9.1%	2	6.5%	4	7.5%
13時台	0	0.0%	1	3.2%	1	1.9%
14時台	3	13.6%	4	12.9%	7	13.2%
15時台	0	0.0%	5	16.1%	5	9.4%
合計	22	100.0%	31	100.0%	53	100.0%
無回答	1		1		2	

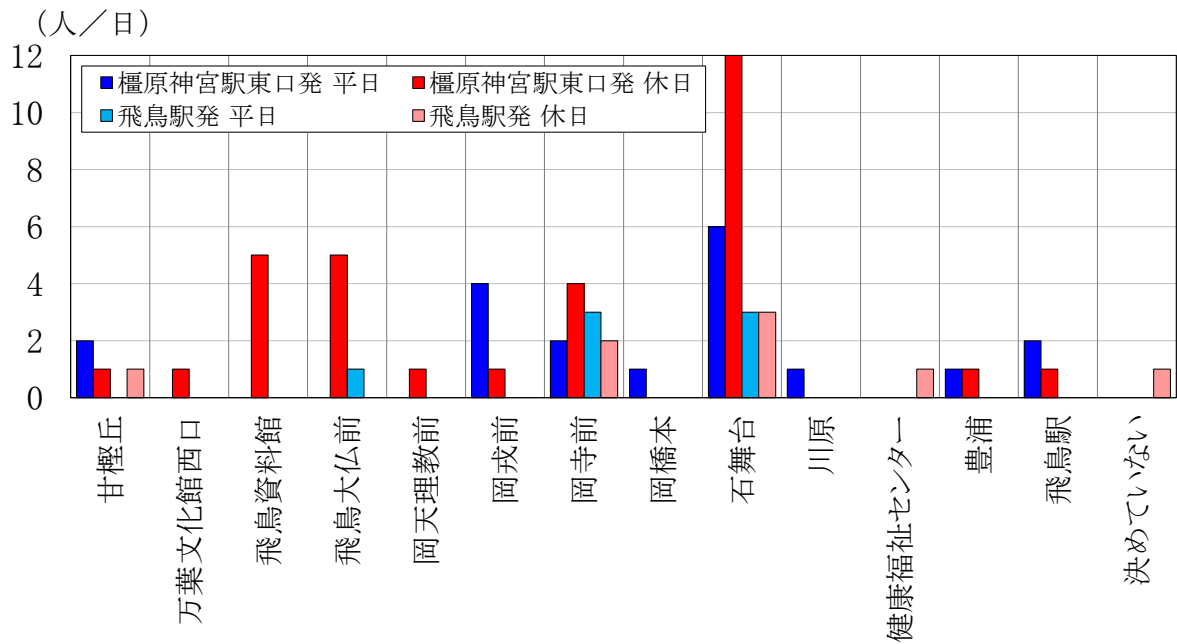
【帰り】

	平日	構成比	休日	構成比	合計	構成比
10時台	1	5.9%	0	0.0%	1	2.1%
11時台	2	11.8%	0	0.0%	2	4.3%
12時台	1	5.9%	2	6.7%	3	6.4%
13時台	0	0.0%	1	3.3%	1	2.1%
14時台	0	0.0%	2	6.7%	2	4.3%
15時台	4	23.5%	3	10.0%	7	14.9%
16時台	4	23.5%	9	30.0%	13	27.7%
17時台	4	23.5%	4	13.3%	8	17.0%
午後	0	0.0%	1	3.3%	1	2.1%
夕方	1	5.9%	2	6.7%	3	6.4%
泊	0	0.0%	6	20.0%	6	12.8%
合計	17	100.0%	30	100.0%	47	100.0%
無回答	6		2		8	

⑤利用バス停

「赤かめ」周遊バスの利用バス停について、檀原神宮駅東口発は平日、休日ともに、「石舞台」の利用が多く、休日は「飛鳥資料館」、「飛鳥大仏前」の利用も多い。

飛鳥駅発については、平日、休日ともに「石舞台」、「岡寺前」の利用が多い。



複数回答

【榎原神宮駅東口発】

着駅	平日	構成比	休日	構成比	合計	構成比
飛鳥駅	2	12.5%	1	4.0%	3	7.3%
飛鳥資料館	0	0.0%	5	20.0%	5	12.2%
飛鳥大仏前	0	0.0%	5	20.0%	5	12.2%
甘檜丘	2	12.5%	1	4.0%	3	7.3%
石舞台	6	37.5%	12	48.0%	18	43.9%
岡戎前	4	25.0%	1	4.0%	5	12.2%
岡寺前	2	12.5%	4	16.0%	6	14.6%
岡天理教前	0	0.0%	1	4.0%	1	2.4%
岡橋本	1	6.3%	0	0.0%	1	2.4%
川原	1	6.3%	0	0.0%	1	2.4%
豊浦	1	6.3%	1	4.0%	2	4.9%
万葉文化館西口	0	0.0%	1	4.0%	1	2.4%
合計	19	118.8%	32	128.0%	51	124.4%
回答者数	16	100.0%	25	100.0%	41	100.0%

※複数回答

【飛鳥駅発】

着駅	平日	構成比	休日	構成比	合計	構成比
飛鳥大仏前	1	16.7%	0	0.0%	1	7.7%
甘檜丘	0	0.0%	1	14.3%	1	7.7%
石舞台	3	50.0%	3	42.9%	6	46.2%
岡寺前	3	50.0%	2	28.6%	5	38.5%
健康福祉センター	0	0.0%	1	14.3%	1	7.7%
決めていない	0	0.0%	1	14.3%	1	7.7%
合計	7	116.7%	8	114.3%	15	115.4%
回答者数	6	100.0%	7	100.0%	13	100.0%
無回答	1		0		1	

※複数回答

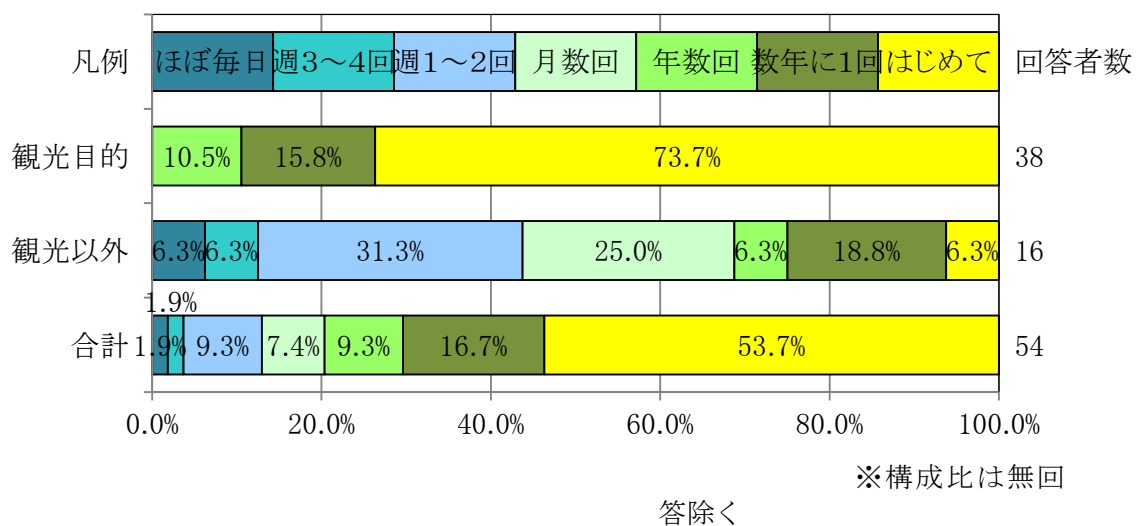
※構成比は無回答除く

⑥利用頻度

「赤かめ」周遊バスの利用頻度について、観光目的での利用は、約7割が「はじめての利用」、2割弱が「数年に1回」、約1割が「年数回」となっている。

観光以外の地元住民等については、約3割が「週に1～2回」となっている。

利用頻度	観光目的	構成比	観光以外	構成比	合計	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%	1	6.3%	1	1.9%
週3～4回	0	0.0%	1	6.3%	1	1.9%
週1～2回	0	0.0%	5	31.3%	5	9.3%
月数回	0	0.0%	4	25.0%	4	7.4%
年数回	4	10.5%	1	6.3%	5	9.3%
数年に1回	6	15.8%	3	18.8%	9	16.7%
はじめて	28	73.7%	1	6.3%	29	53.7%
合計	38	100.0%	16	100.0%	54	100.0%
無回答	1		0		1	

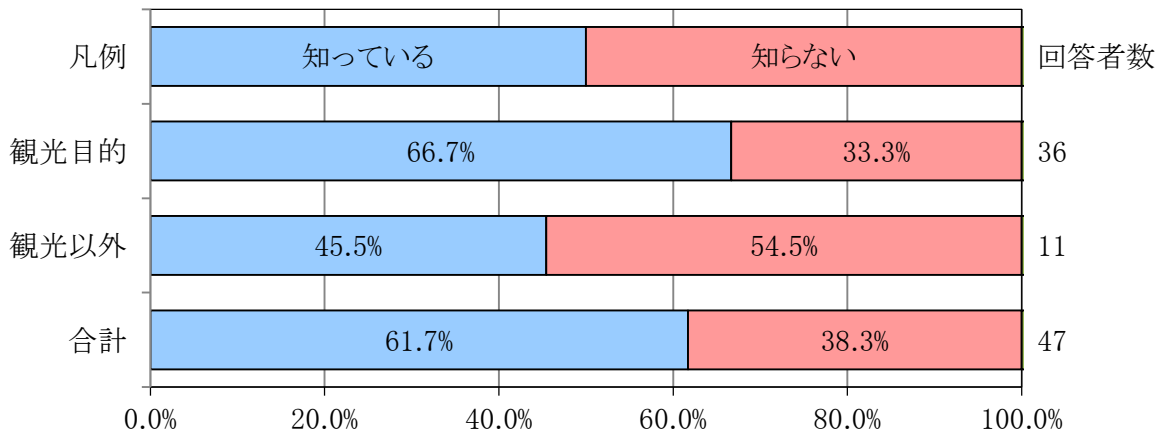


⑦ 1日フリー乗車券の認知度

1日フリー乗車券の認知度について、観光目的の方の認知度は6割を超えているが、地元住民を含む観光以外の方は約半数となっている。

自由意見では、観光施設での特典について意見があがっている。

乗車券の認知度	観光目的	構成比	観光以外	構成比	合計	構成比
知っている	24	66.7%	5	45.5%	29	61.7%
知らない	12	33.3%	6	54.5%	18	38.3%
合計	36	100.0%	11	100.0%	47	100.0%
無回答	3		5		8	



※構成比は無回答除く

答除く

【自由回答：1日フリーチケット】

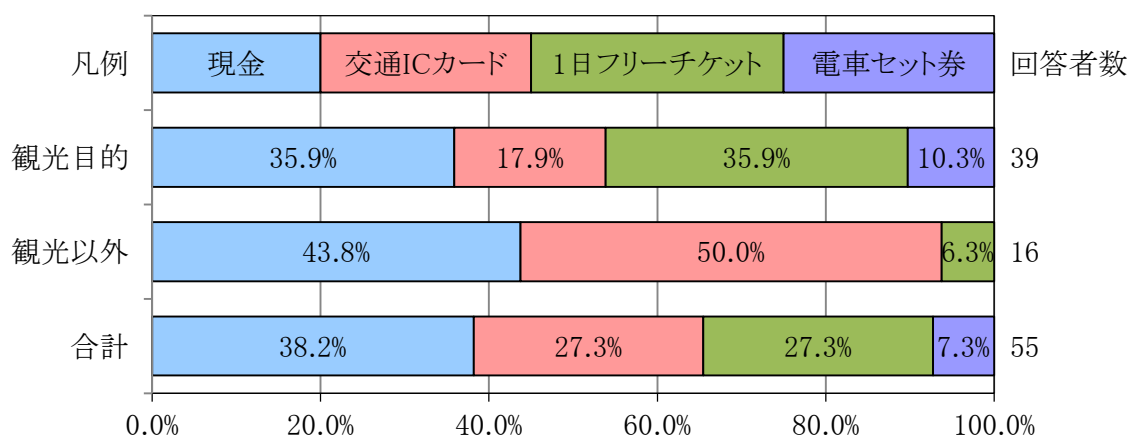
属性	年齢	調査場所	意見
女性	60歳代	橿原神宮前駅	1日フリーチケットに万葉文化館の特典はないのか。

⑧支払方法

かめバスの支払方法について、観光目的の方は4割弱が「1日フリー乗車券」の利用であり、「近鉄電車とバスのセット券」も約1割となっている。

一方、地元住民を含む観光以外の目的の方は、半数が「交通ICカード」の利用となっている。

支払方法	観光目的	構成比	観光以外	構成比	合計	構成比
現金	14	35.9%	7	43.8%	21	38.2%
交通ICカード	7	17.9%	8	50.0%	15	27.3%
1日フリーチケット	14	35.9%	1	6.3%	15	27.3%
電車セット券	4	10.3%	0	0.0%	4	7.3%
合計	39	100.0%	16	100.0%	55	100.0%



※構成比は無回答除く

(3) かめバスの実証運行

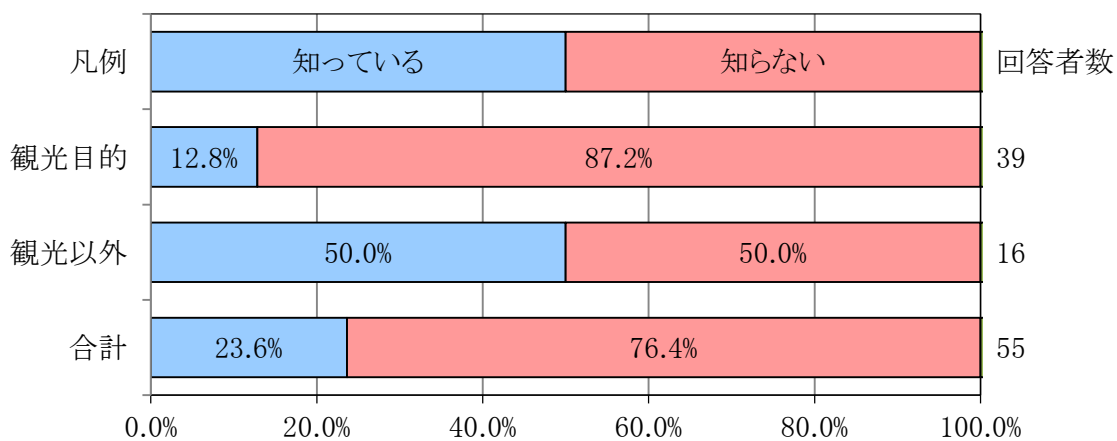
①認知度

実証運行の認知度について、観光目的の方については「知っている」が1割強にとどまっている。一方、観光目的以外の地元住民等は半数が「知っている」となっている。

認知	観光目的	構成比	観光以外	構成比	合計	構成比
知っている	5	12.8%	8	50.0%	13	23.6%
知らない	34	87.2%	8	50.0%	42	76.4%
合計	39	100.0%	16	100.0%	55	100.0%

「知っている」方の認知媒体

インターネット	1人
村の広報	1人
合計	2人
無回答	11人

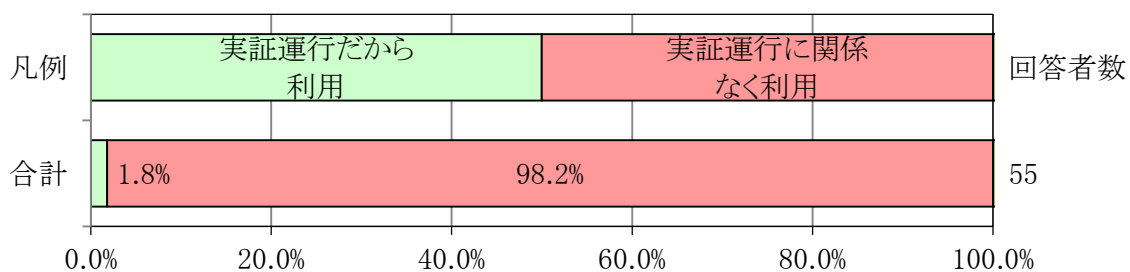


②実証運行と利用の関係

「実証運行だから利用」は1人となっており、他の方は「実証運行に関係なく利用」となっている。

なお、「実証運行だから利用」した方は、インターネットで5月末まで増便されていることを知って東京都から来訪された60代の男性（同行人数2人）で、観光目的の利用であった。

利用	合計	構成比
実証運行だから利用	1	1.8%
実証運行に関係なく利用	54	98.2%
合計	55	100.0%



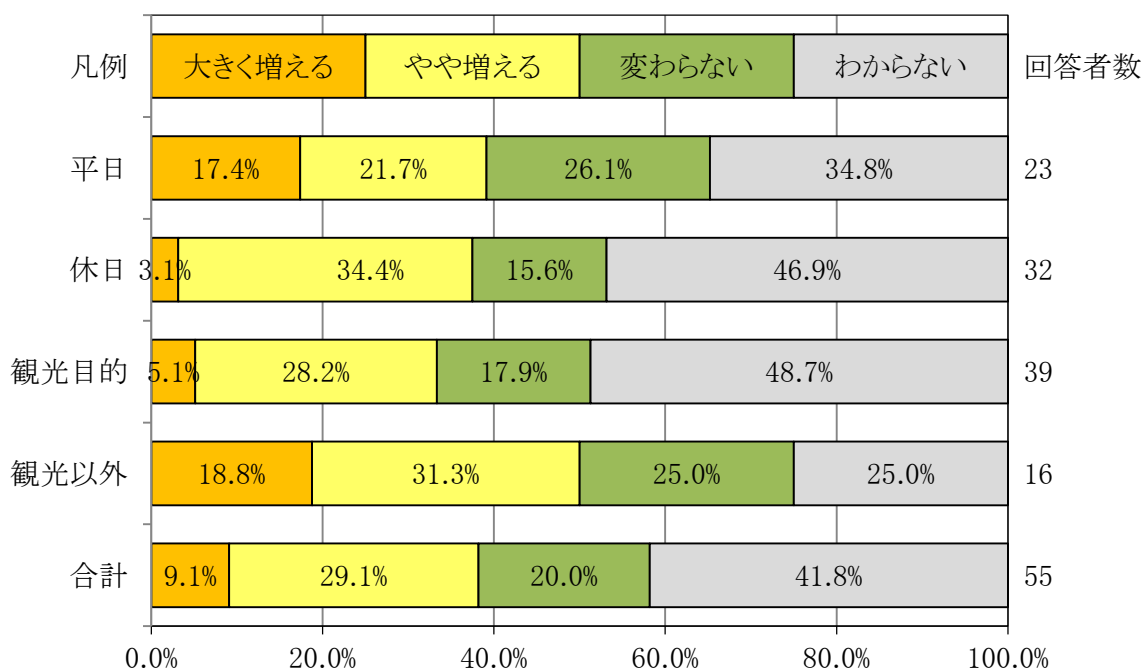
※構成比は無回答除く

③実証運行の影響

実証運行のかめバス利用への影響について、実証運行を継続した場合、「大きく増える」が約1割、「やや増える」は約3割となっており、「変わらない」は2割となっている。

明日香村在住の12名については、「大きく増える」2名、「やや増える」4人、「変わらない」4人、「わからない」2人となっている。

利用	観光目的	構成比	観光以外	構成比	合計	構成比
大きく増える	2	5.1%	3	18.8%	5	9.1%
やや増える	11	28.2%	5	31.3%	16	29.1%
変わらない	7	17.9%	4	25.0%	11	20.0%
わからない	19	48.7%	4	25.0%	23	41.8%
合計	39	100.0%	16	100.0%	55	100.0%

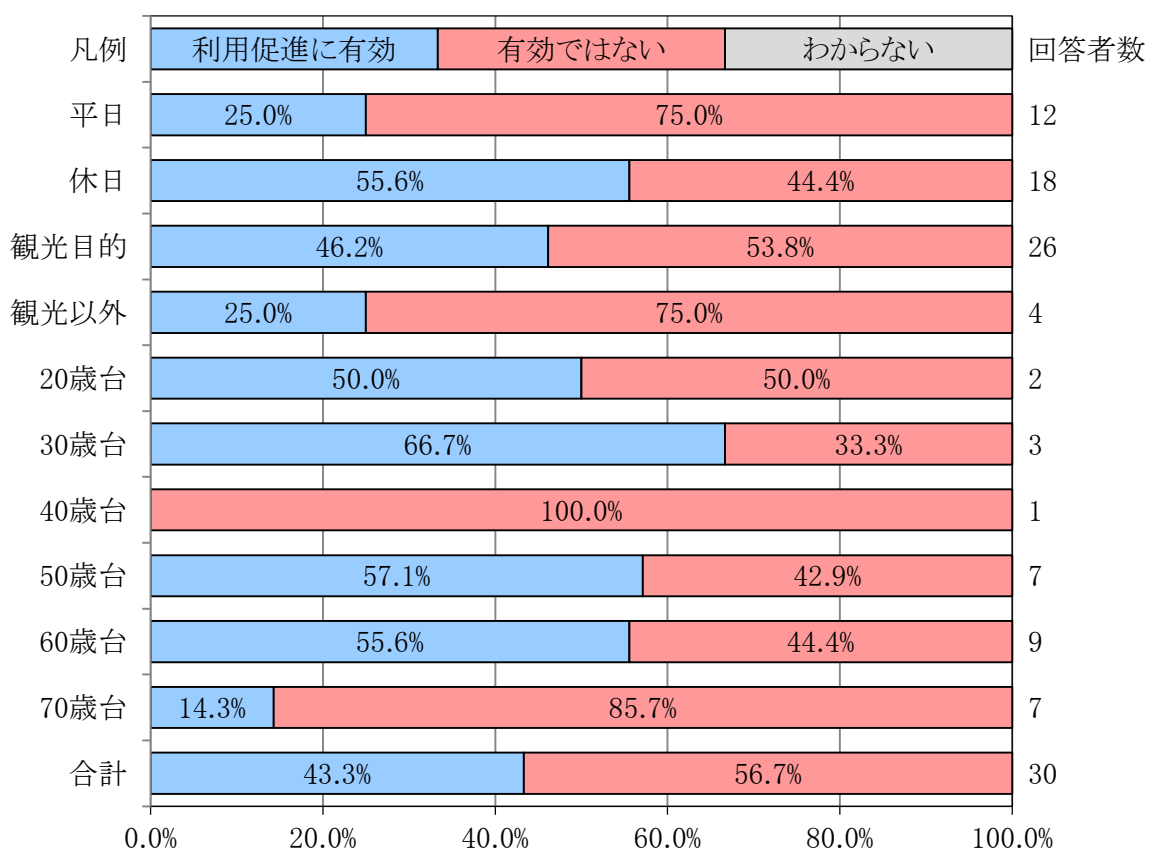


※構成比は無回答除く

④施設共通チケットに関する意向

施設共通チケットが「利用促進に有効」との回答は、平日よりも休日の方が多く、観光以外の方よりも観光目的の方が多い。また、30歳台の方が7割弱と多く、20歳台は半数、50～60歳台は6割弱となっている。

	平日	構成比	休日	構成比	合計	構成比
利用促進に有効	3	25.0%	10	55.6%	13	43.3%
有効ではない	9	75.0%	8	44.4%	17	56.7%
わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	12	100.0%	18	100.0%	30	100.0%
無回答	11		14		25	



※構成比は無回答除く

⑤その他の利用者意向

自由意見では「増便を続けてほしい」という意見が多くあがっている。

【自由回答：増便・ダイヤ改正】

属性	年齢	調査場所	意見
女性	40歳代	飛鳥駅	本数が多い方が便利で良い。
男性	70歳代	榎原神宮前駅	ずっと増便を続けてほしい。以前は本数が少なかった。
女性	70歳代	榎原神宮前駅	八木下市線下市口ゆきとの接続が悪いが、30分間隔の運行だと次の便までの待ち時間が少なくてすむ。
女性	60歳代	榎原神宮前駅	増便のまま続けてほしい。
女性	80歳代	榎原神宮前駅	増便を続けてほしい。50年間、バスで通勤しており、バスのおかげで働くことができる。
男性	60歳代	榎原神宮前駅	5月末まで増発ということでやって来た。
女性	70歳代	榎原神宮前駅	増便は続けてほしい。
家族	40歳代	榎原神宮前駅	通勤対応でも増やしてほしい。
女性	80歳代	榎原神宮前駅	バスは、あるにこしたことはない。1時間に1回の運行でも有難い。

【自由回答：公共交通について】

属性	年齢	調査場所	意見
女性	60歳代	飛鳥駅	全国のICカードが利用できてとても便利。
女性	50歳代	榎原神宮前駅	赤かめ周遊バスは便利に使っている。
夫婦	80歳代	榎原神宮前駅	高齢になり、これからはバスに乗ることになるだろう。
男性	80歳代	榎原神宮前駅	周遊バスということは知っていたが、バスの行き先がわかりにくい。
男性	80歳代	榎原神宮前駅	路線が複雑だ。逆方向へ行ってUターンするところがあるが、初めてだと驚く。
男性	50歳代	榎原神宮前駅	クルクル回るので助かる。路線バスと違ってわかりやすい。
女性	30歳代	榎原神宮前駅	各地のICカードが使えてよい。
女性	70歳代	榎原神宮前駅	金かめ乗合交通は使えない。循環バスに比べて手続きが面倒で登録もしていない。
女性	80歳代	榎原神宮前駅	乗る人は決まっており、1人しか乗っていないと、もったいないと思う時もある。

【自由回答：周知について】

属性	年齢	調査場所	意見
女性	50歳代	橿原神宮前駅	配布されている時刻表に京都方面特急の時刻の情報もあればよい。

【自由回答：その他】

属性	年齢	調査場所	意見
女性	80歳代	橿原神宮前駅	家族に自動車の送迎を言い出しにくい人もいるようだ。

2 本格運行時（2016年11月）ヒアリング調査結果

(1) 回答者の属性

① サンプル数

檀原神宮前駅バス停では41人、飛鳥駅バス停では26人から利用状況および意向を把握することができた。

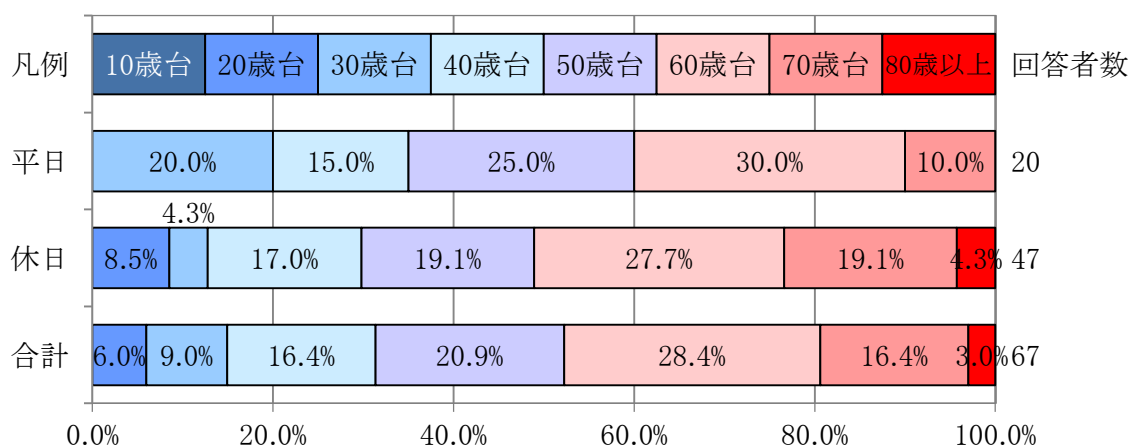
表 サンプル数

調査場所	平日	休日	計
檀原神宮前駅	17	24	41
飛鳥駅	3	23	26
合計	20	47	67

② 年齢

平日、休日ともに60歳台の利用が最も多く、平日よりも休日の利用の方が高齢者の割合が多い。

	平日	構成比	休日	構成比	合計	構成比
10歳台	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20歳台	0	0.0%	4	8.5%	4	6.0%
30歳台	4	20.0%	2	4.3%	6	9.0%
40歳台	3	15.0%	8	17.0%	11	16.4%
50歳台	5	25.0%	9	19.1%	14	20.9%
60歳台	6	30.0%	13	27.7%	19	28.4%
70歳台	2	10.0%	9	19.1%	11	16.4%
80歳以上	0	0.0%	2	4.3%	2	3.0%
合計	20	100.0%	47	100.0%	67	100.0%

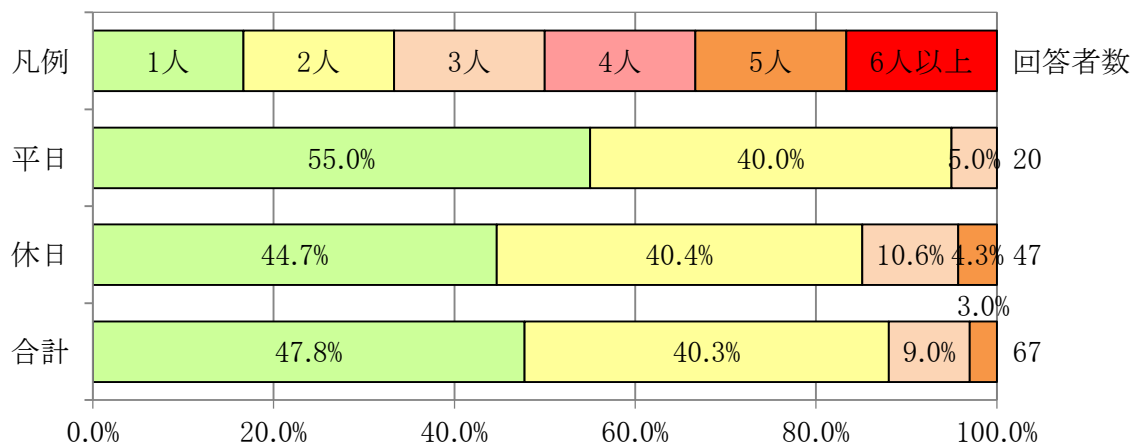


※構成比は無回答除く

③同行人数

平日、休日ともに1人または2人の利用が多い。

	平日	構成比	休日	構成比	合計	構成比
1人	11	55.0%	21	44.7%	32	47.8%
2人	8	40.0%	19	40.4%	27	40.3%
3人	1	5.0%	5	10.6%	6	9.0%
4人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5人	0	0.0%	2	4.3%	2	3.0%
6人以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	20	100.0%	47	100.0%	67	100.0%



④居住地

観光目的の 50 人について、9 割以上が奈良県外からの来訪である。

観光以外の 17 人については、明日香村 3 人（岡 1 人、檜前 1 人、野口 1 人）、橿原市 5 人（通勤 1 人、娯楽 1 人、その他 3 人）、大阪市 1 人（講演会聴講（中央公民館））、奈良県大和高田市 1 人（通勤）、奈良県王寺町 1 人（講演会聴講（中央公民館））、奈良県平群町 1 人（講演会聴講（中央公民館））、奈良県大淀町 1 人（講演会聴講（中央公民館））、兵庫県 1 人（業務）、神奈川県横浜市 1 人（講演会聴講（中央公民館））、不明 2 人（講演会聴講（中央公民館） 1 人、その他利用 1 人）となっている。

※利用目的については、後頁参照

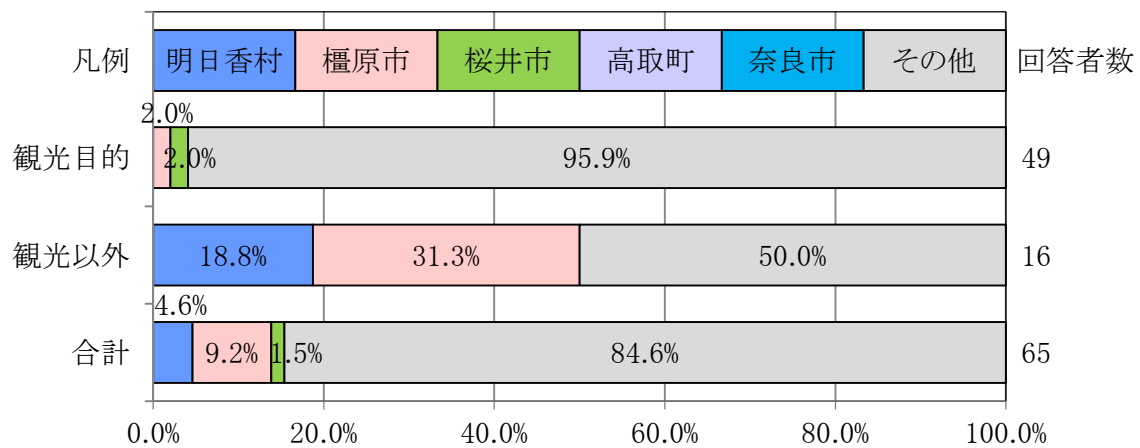
居住地	観光目的	構成比	観光以外	構成比	合計	構成比
明日香村	0	0.0%	3	18.8%	3	4.6%
橿原市	1	2.0%	5	31.3%	6	9.2%
桜井市	1	2.0%	0	0.0%	1	1.5%
高取町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
奈良市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	47	95.9%	8	50.0%	55	84.6%
合計	49	100.0%	16	100.0%	65	100.0%
無回答	1		1		2	

「その他」の居住地

大阪府	11
京都府	1
兵庫県	2
奈良県	5
三重県	2
広島県	1
岡山県	1

香川県	1
静岡県	1
愛知県	1
関東	2
東京都	3
千葉県	2
神奈川県	2

栃木県	1
石川県	1
奈良県外	1
中国	2
オランダ	1
合計	41



(2) かめバスの利用状況

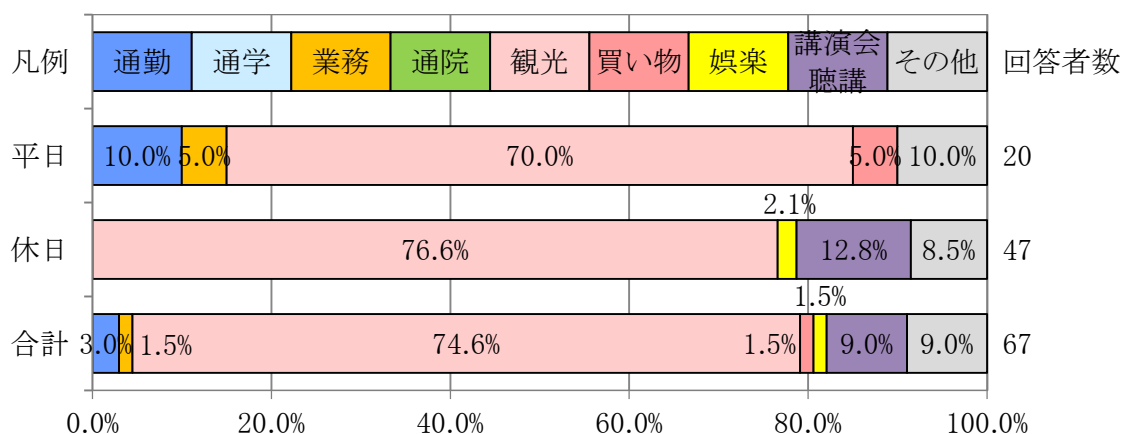
①利用目的

平日、休日ともに観光利用が多く、平日は7割、休日は約8割を占めている。

平日は、観光利用のほか、通勤、業務、買い物の目的にも利用されている。

利用目的	平日	構成比	休日	構成比	合計	構成比
通勤	2	10.0%	0	0.0%	2	3.0%
通学	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
業務	1	5.0%	0	0.0%	1	1.5%
通院	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
観光	14	70.0%	36	76.6%	50	74.6%
買い物	1	5.0%	0	0.0%	1	1.5%
娯楽	0	0.0%	1	2.1%	1	1.5%
講演会聴講(中央公民館)	0	0.0%	6	12.8%	6	9.0%
その他	2	10.0%	4	8.5%	6	9.0%
合計	20	100.0%	47	100.0%	67	100.0%

「その他」の利用目的	平日	休日
実家へ	1	1
親戚宅へ	1	
帰宅		1
健康福祉センターへ		1
コーラス		1
合計	2	4



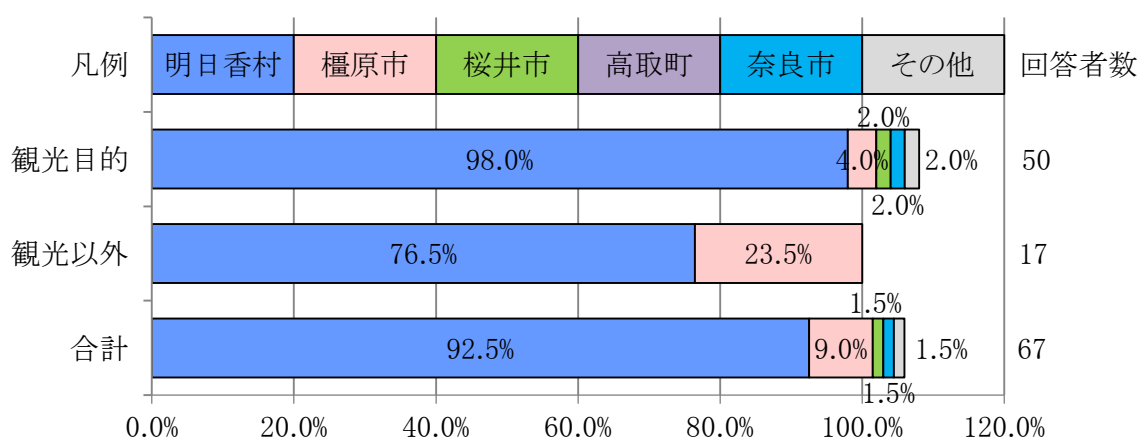
②外出目的地

観光目的の 50 人については、明日香村への観光の他、2 人が橿原市へ来訪している。

観光以外の 17 人の外出目的地については、明日香村が 13 人、橿原市 4 人となっている。

外出目的地	観光目的	構成比	観光以外	構成比	合計	構成比
明日香村	49	98.0%	13	76.5%	62	92.5%
橿原市	2	4.0%	4	23.5%	6	9.0%
桜井市	1	2.0%	0	0.0%	1	1.5%
高取町	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
奈良市	1	2.0%	0	0.0%	1	1.5%
その他	1	2.0%	0	0.0%	1	1.5%
合計	54	108.0%	17	100.0%	71	106.0%
回答者数	50	100.0%	17	100.0%	67	100.0%

※複数回答



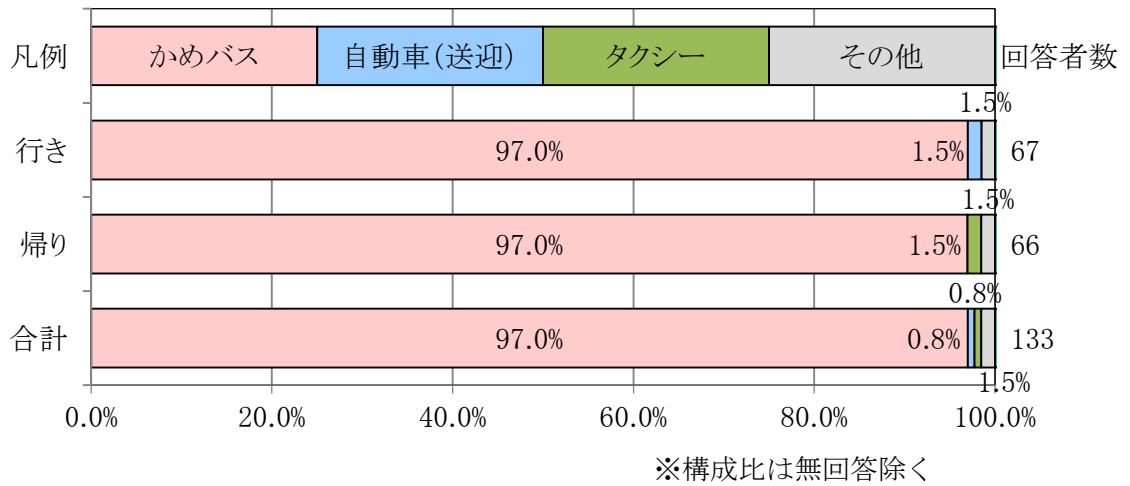
※構成比は回答者数に対する比率

③村内での交通手段

村内での交通手段について、「赤かめ」周遊バス利用者は、ほとんどが行きも帰りも利用している。

なお、行きの自動車（送迎）1人は橿原市在住の方、その他（近鉄電車）利用1人は居住地不明。帰りのタクシー利用1人は居住地不明、その他（奈良交通バス）利用1人は桜井市在住。無回答1人はオランダから観光で来訪している方である。

交通手段	行き	構成比	帰り	構成比	合計	構成比
かめバス	65	97.0%	64	97.0%	129	97.0%
自動車(送迎)	1	1.5%	0	0.0%	1	0.8%
タクシー	0	0.0%	1	1.5%	1	0.8%
その他	1	1.5%	1	1.5%	2	1.5%
合計	67	100.0%	66	100.0%	133	100.0%
無回答	0		1		1	

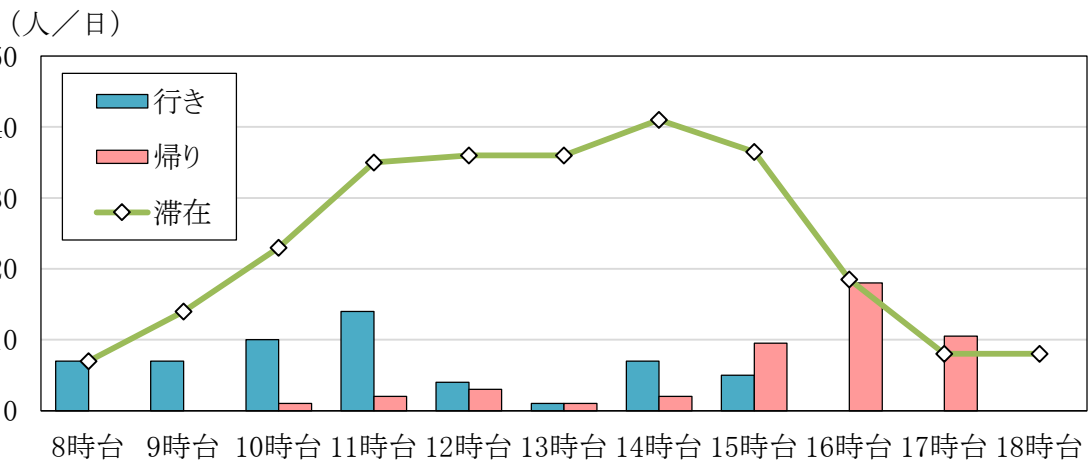
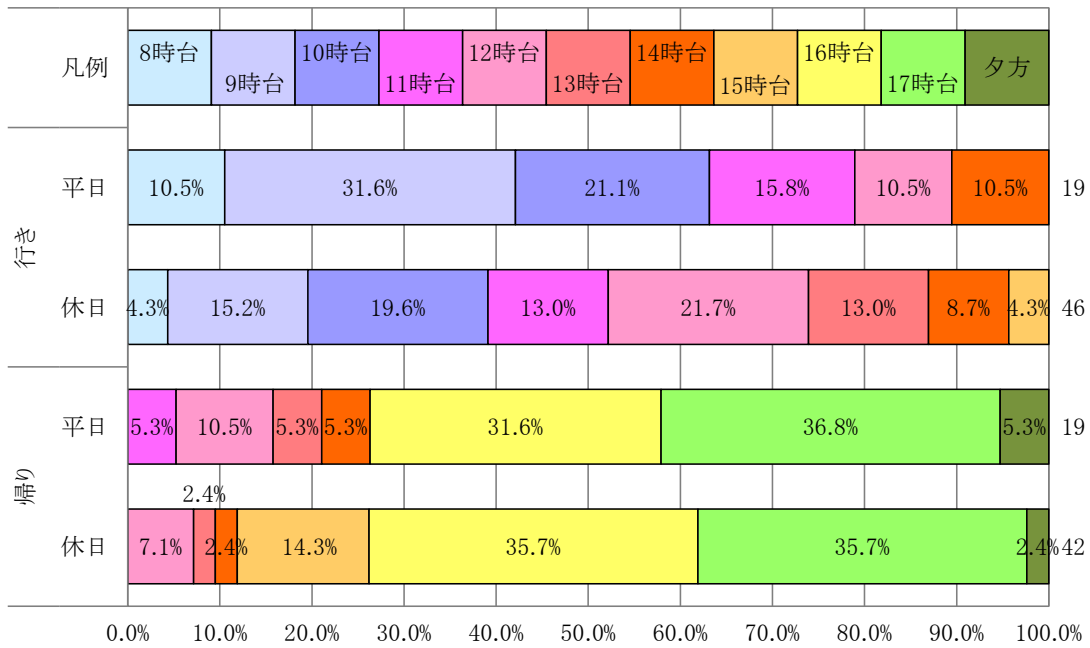


④利用時間

「赤かめ」周遊バスの利用時間について、行きは、平日は9時～11時の利用が多く、休日は10時～12時の利用が多い。

帰りは、16時～17時の利用が多い。

「赤かめ」周遊バス利用者の明日香村での滞在は、13・14時台とがピークとなっている。



※行きの「無回答」については利用の多い10時～11時に割振り、帰りの「夕方」は16時、「無回答」については15時～17時に割振り図示している。

【行き】

	平日	構成比	休日	構成比	合計	構成比
8時台	2	10.5%	2	4.3%	4	6.2%
9時台	6	31.6%	7	15.2%	13	20.0%
10時台	4	21.1%	9	19.6%	13	20.0%
11時台	3	15.8%	6	13.0%	9	13.8%
12時台	2	10.5%	10	21.7%	12	18.5%
13時台	0	0.0%	6	13.0%	6	9.2%
14時台	2	10.5%	4	8.7%	6	9.2%
15時台	0	0.0%	2	4.3%	2	3.1%
合計	19	100.0%	46	100.0%	65	100.0%
無回答	1		1		2	

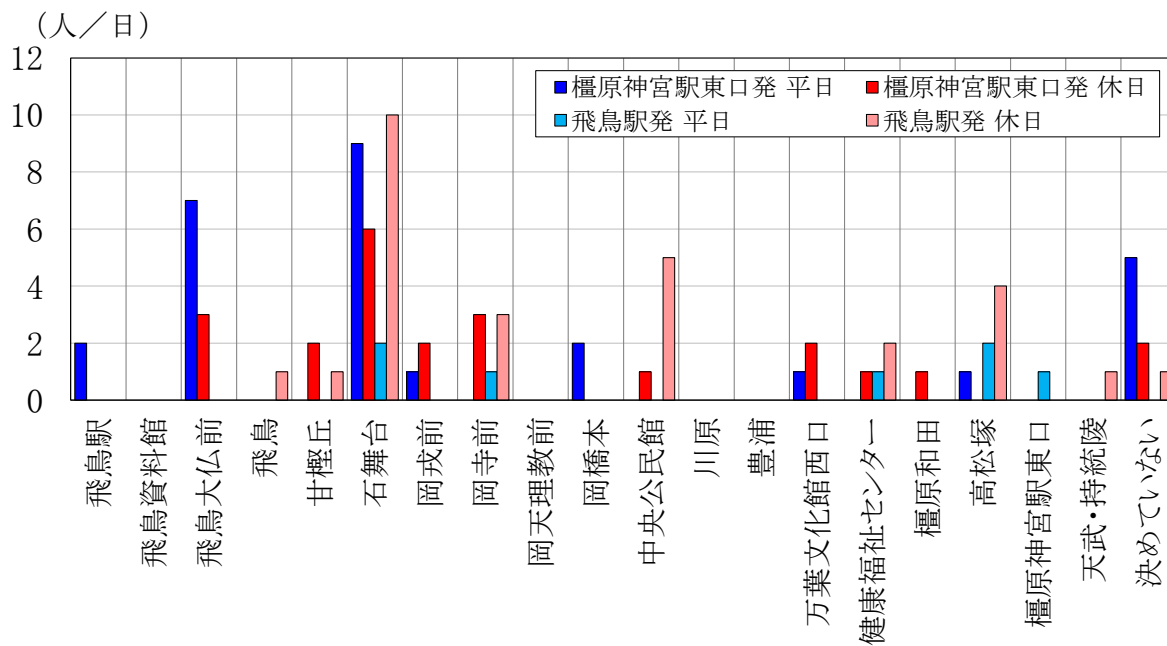
【帰り】

	平日	構成比	休日	構成比	合計	構成比
11時台	1	5.3%	0	0.0%	1	1.6%
12時台	2	10.5%	3	7.1%	5	8.2%
13時台	1	5.3%	1	2.4%	2	3.3%
14時台	1	5.3%	1	2.4%	2	3.3%
15時台	0	0.0%	6	14.3%	6	9.8%
16時台	6	31.6%	15	35.7%	21	34.4%
17時台	7	36.8%	15	35.7%	22	36.1%
夕方	1	5.3%	1	2.4%	2	3.3%
合計	19	100.0%	42	100.0%	61	100.0%
無回答	1		5		6	

⑤利用バス停

「赤かめ」周遊バスの利用バス停について、檀原神宮駅東口発は平日、休日ともに、「石舞台」の利用が多く、平日は「飛鳥大仏前」の利用も多い。

飛鳥駅発については、平日、休日ともに「石舞台」、「高松塚」が多く、休日はさらに「中央公民館」の利用も多い。

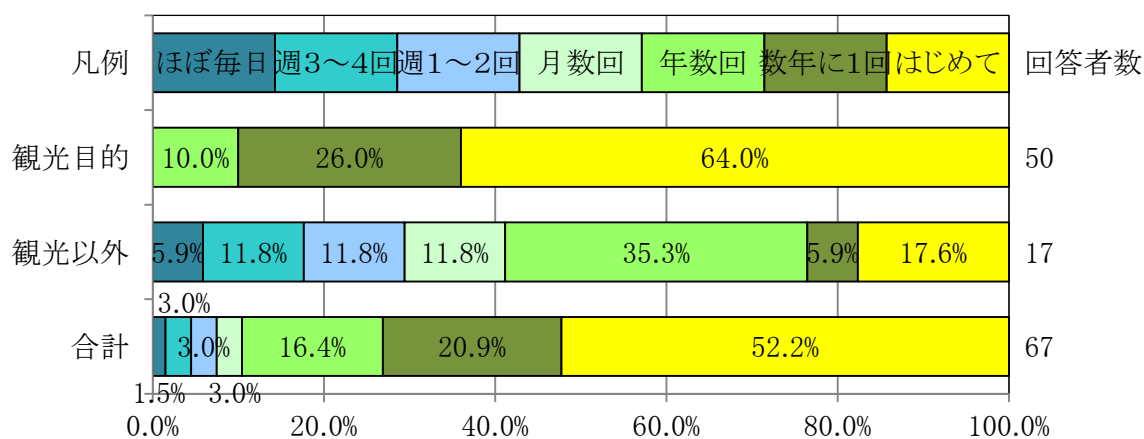


⑥利用頻度

「赤かめ」周遊バスの利用頻度について、観光目的での利用は、約 6 割が「はじめての利用」、3 割弱が「数年に 1 回」、1 割が「年数回」となっている。

観光以外の地元住民等については、4 割弱が「年数回」となっている。

利用頻度	観光目的	構成比	観光以外	構成比	合計	構成比
ほぼ毎日	0	0.0%	1	5.9%	1	1.5%
週3～4回	0	0.0%	2	11.8%	2	3.0%
週1～2回	0	0.0%	2	11.8%	2	3.0%
月数回	0	0.0%	2	11.8%	2	3.0%
年数回	5	10.0%	6	35.3%	11	16.4%
数年に1回	13	26.0%	1	5.9%	14	20.9%
はじめて	32	64.0%	3	17.6%	35	52.2%
合計	50	100.0%	17	100.0%	67	100.0%



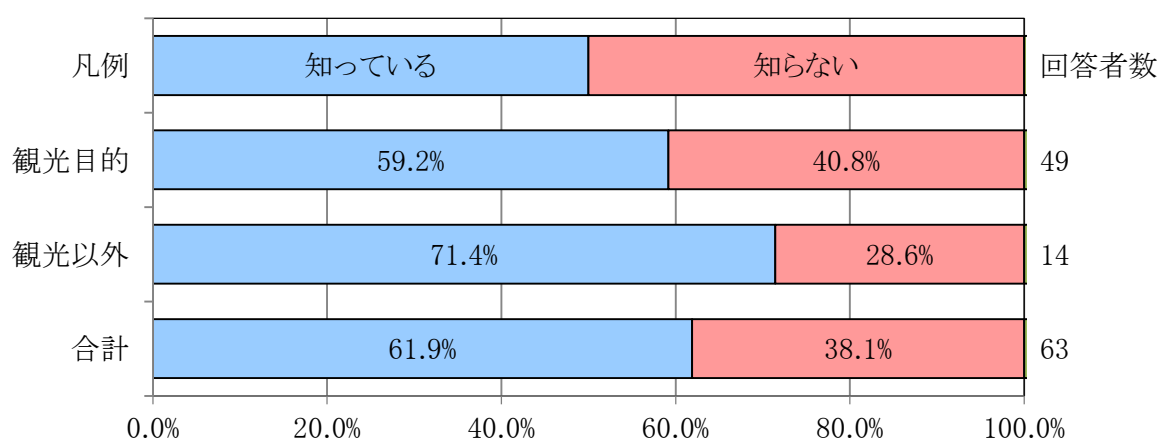
※構成比は無回答除く

⑦ 1日フリー乗車券の認知度

1日フリー乗車券の認知度について、観光目的の方の認知度は約6割だが、地元住民を含む観光以外の方は7割を超えている。

自由意見では、1日フリー乗車券の販売場所について意見があがっている。

乗車券の認知度	観光目的	構成比	観光以外	構成比	合計	構成比
知っている	29	59.2%	10	71.4%	39	61.9%
知らない	20	40.8%	4	28.6%	24	38.1%
合計	49	100.0%	14	100.0%	63	100.0%



※構成比は無回答除く

【自由回答：1日フリーチケット】

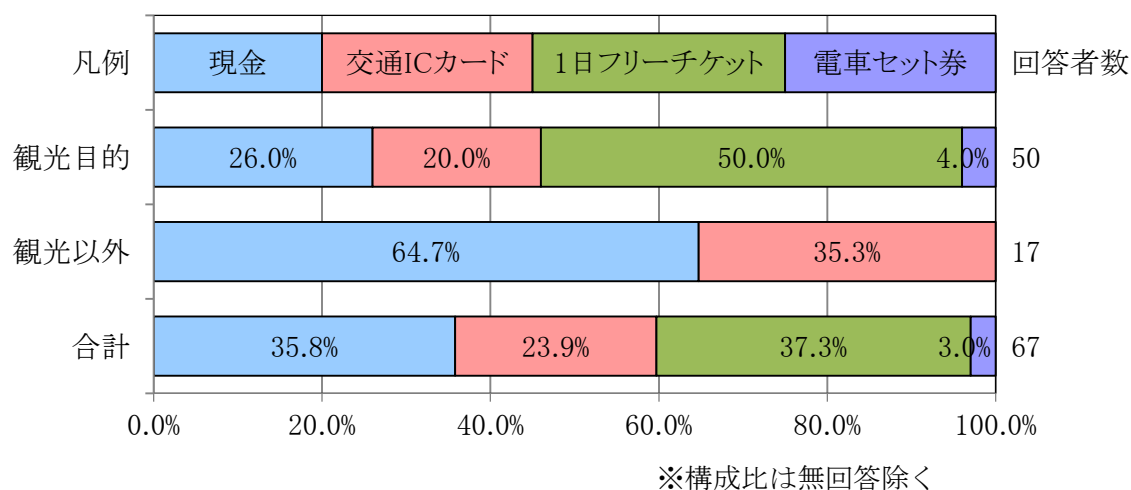
属性	年齢	調査場所	意見
女性	40歳代	飛鳥駅	飛鳥駅バス停の案内がまだわかりにくい。運転士に聞いて、1日フリー乗車券を買うためにあわてて飛鳥びとの館に走る人もいる。
女性	50歳代	橿原神宮前駅	1日フリー乗車券は便利。
女性	30歳代	橿原神宮前駅	中国語のガイドブックに1日フリー乗車券の事が掲載されていた。
団体等	60歳代	橿原神宮前駅	1日フリー乗車券は車内で販売してほしい。バス停まで来てから、駅まで買いに戻るとバスに乗れない。

⑧支払方法

かめバスの支払方法について、観光目的の方は半数が「1日フリー乗車券」の利用となっている。

一方、地元住民を含む観光以外の目的の方は、4割弱が「交通ICカード」の利用となっている。

支払方法	観光目的	構成比	観光以外	構成比	合計	構成比
現金	13	26.0%	11	64.7%	24	35.8%
交通ICカード	10	20.0%	6	35.3%	16	23.9%
1日フリーチケット	25	50.0%	0	0.0%	25	37.3%
電車セット券	2	4.0%	0	0.0%	2	3.0%
合計	50	100.0%	17	100.0%	67	100.0%



(3) かめバスの実証運行（本格運行）

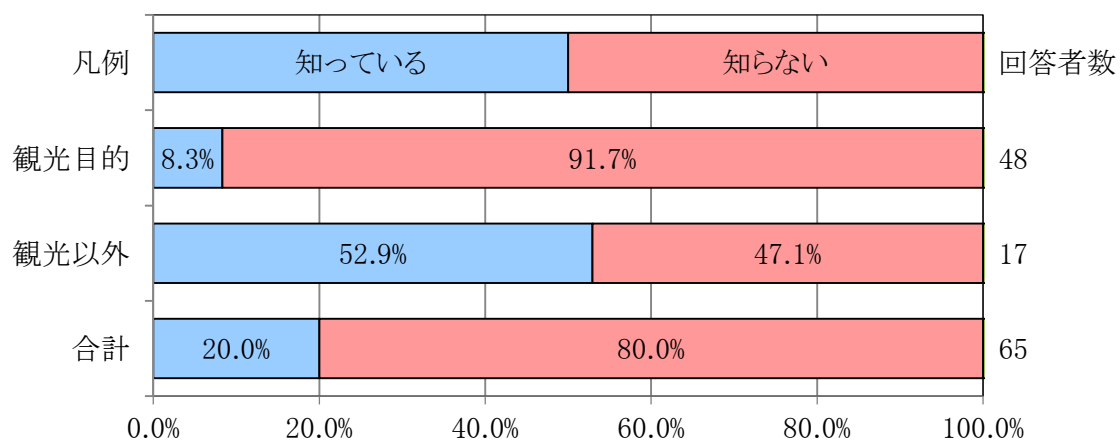
①認知度

実証運行（本格運行）の認知度について、観光目的の方については「知っている」が1割弱にとどまっている。一方、観光目的以外の地元住民等は約半数が「知っている」となっている。

認知	観光目的	構成比	観光以外	構成比	合計	構成比
知っている	4	8.3%	9	52.9%	13	20.0%
知らない	44	91.7%	8	47.1%	52	80.0%
合計	48	100.0%	17	100.0%	65	100.0%
無回答	2		0		2	

「知っている」方の認知媒体

インターネット	1人
合計	1人
無回答	12人

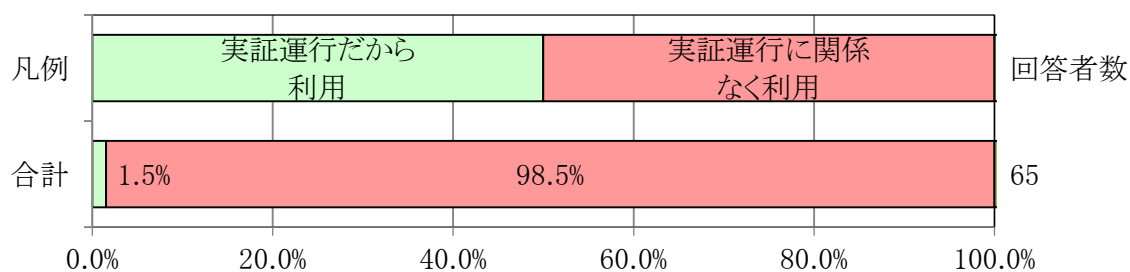


②実証運行（本格運行）と利用の関係

「実証運行（本格運行）だから利用」は1人となっており、他の方は「関係なく利用」となっている。

なお、「実証運行（本格運行）だから利用」した方は、大阪府豊中市から来訪された60代の男性（同行人数3人）で、観光目的の利用であった。

利用	合計	構成比
実証運行だから利用	1	1.5%
実証運行に関係なく利用	64	98.5%
合計	65	100.0%
無回答	2	



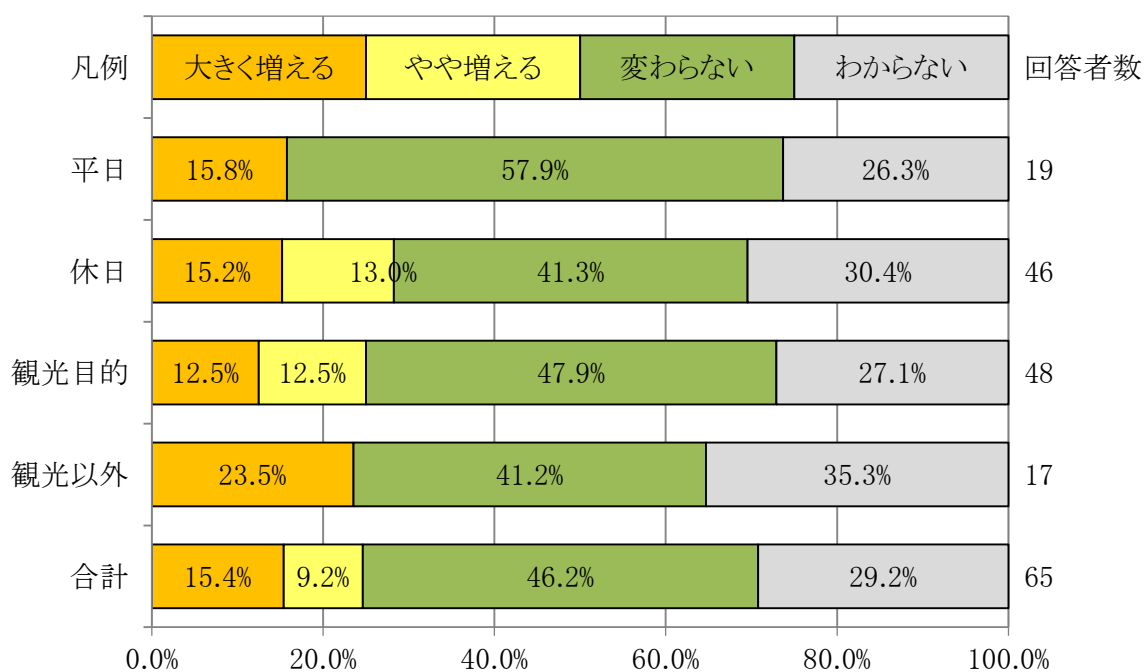
※構成比は無回答除く

③実証運行（本格運行）の影響

実証運行（本格運行）のかめバス利用への影響について、継続した場合、「大きく増える」が1割台半ば、「やや増える」は1割弱となっており、「変わらない」は5割弱となっている。

明日香村在住の3名については、「大きく増える」1名、「変わらない」2人となっている。

利用	観光目的	構成比	観光以外	構成比	合計	構成比
大きく増える	6	12.5%	4	23.5%	10	15.4%
やや増える	6	12.5%	0	0.0%	6	9.2%
変わらない	23	47.9%	7	41.2%	30	46.2%
わからない	13	27.1%	6	35.3%	19	29.2%
合計	48	100.0%	17	100.0%	65	100.0%
無回答	2		0		2	

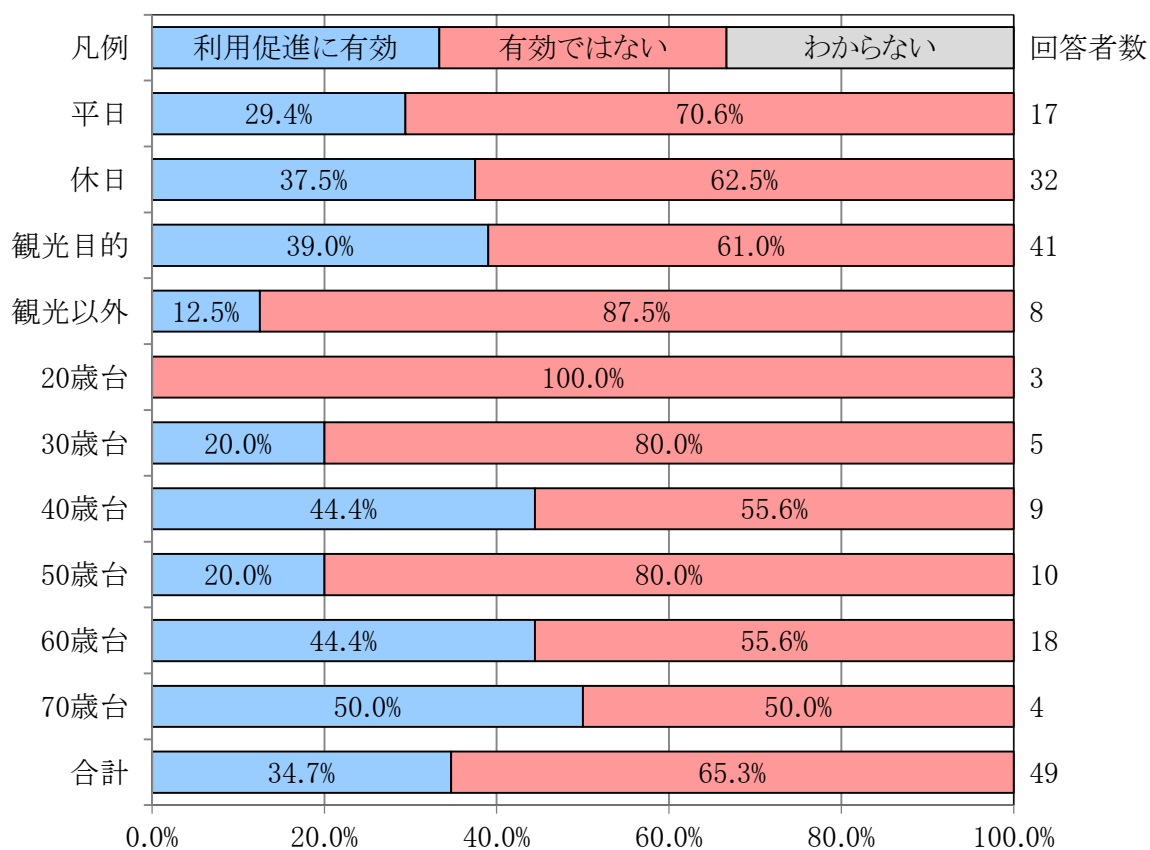


※構成比は無回答除く

④施設共通チケットに関する意向

施設共通チケットが「利用促進に有効」との回答は、平日よりも休日の方が多く、観光以外の方よりも観光目的の方が多い。また、40歳台、60歳台の方が4割強、70歳台は5割となっている。

	平日	構成比	休日	構成比	合計	構成比
利用促進に有効	5	29.4%	12	37.5%	17	34.7%
有効ではない	12	70.6%	20	62.5%	32	65.3%
わからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	17	100.0%	32	100.0%	49	100.0%
無回答	3		15		18	



※構成比は無回答除く

⑤その他の利用者意向

自由意見では「さらに増便してほしい」という意見が多くあがっている。

【自由回答：増便・ダイヤ改正】

属性	年齢	調査場所	意見
女性	40歳代	飛鳥駅	費用はかかるだろうが、もっと増便してもいいのではないか。
男性	30歳代	飛鳥駅	1時間に2本では少ない。
女性	70歳代	飛鳥駅	「赤かめ」の増便で便利になったのは神宮駅～石舞台の間だけ。
男性	30歳代	飛鳥駅	キトラへの便が少ない。「赤かめ」と直結すればいいのではないか。
女性	80歳以上	飛鳥駅	費用はかかると思うが、観光シーズン以外でも増便してほしい。
女性	50歳代	橿原神宮前駅	待ち時間が短くなるので、30分間隔の運行はよい。
女性	60歳代	橿原神宮前駅	HPを見て、30分運行なのは分かったが、実験なのか本格運行なのか分からなかった。
男性	70歳代	橿原神宮前駅	1時間に2本は少ないので、奈良市中心部のようにもっと増便してほしい。
女性	30歳代	橿原神宮前駅	本数は多い方が良いので、良いことだと思う。
女性	50歳代	橿原神宮前駅	キトラ古墳へ行きたいが、バスの本数が少ない。
女性	40歳代	橿原神宮前駅	以前は1時間に1本であったが、30分に1本になり、便利になったので継続してほしい。
女性	20歳代	橿原神宮前駅	何か所も行きたいので本数が多い方が良い。
女性	60歳代	橿原神宮前駅	石舞台、飛鳥寺の後に桜井へ行くため、乗継ができて良いと思う。
夫婦	60歳代	橿原神宮前駅	御朱印集めで関西を周っており、いつも知らない場所へ行くので、もう少し本数が多いとよい。
女性	50歳代	橿原神宮前駅	待ち時間が短いのでよい。
女性	70歳代	橿原神宮前駅	バスの最終が早いので、部活や塾帰りの学生は利用できない。

【自由回答：時刻表】

属性	年齢	調査場所	意見
女性	60歳代	飛鳥駅	時刻表パンフは、これを見ながら予定をたてられるので良い。
男性	40歳代	飛鳥駅	時刻表パンフは、各バス停の時刻がわかるので非常に良い。
夫婦	50歳代	飛鳥駅	時刻表パンフはわかりやすい。
男性	70歳代	飛鳥駅	バス停留所の案内や時刻表がわかりにくい。

【自由回答：公共交通について】

属性	年齢	調査場所	意見
男性	50歳代	飛鳥駅	バスは、あったほうが便利。
女性	80歳以上	飛鳥駅	村内割引券でバスを利用している。
女性	70歳代	飛鳥駅	「赤かめ」バスはいずれなくなるのでは。そうになったらタクシーに乗るしかない。「金かめ」乗合はややこしい。
女性	80歳以上	飛鳥駅	バスが便利になって、利用が増えていると思う。観光客の利用も多いと感じる。
女性	70歳代	飛鳥駅	飛鳥駅着のバスで、近鉄との接続がよい便と悪い便がある。
女性	60歳代	橿原神宮前駅	かやぶき、甘櫨丘へ行きたいが、かやぶきがどのバス停で降りたらよいのかわからない。
女性	70歳代	橿原神宮前駅	利用者が少なくて危惧している。
女性	20歳代	橿原神宮前駅	岡寺とキトラ古墳へ行きたいが、キトラ古墳へはバスが少ないので、電車と両方を活用する方がよさそう。
男性	70歳代	橿原神宮前駅	橿原と明日香の両方に行けるので良い。
男性	30歳代	橿原神宮前駅	太子の湯へ行くのに、橿原神宮前駅からバス1本で行けるので便利。
女性	70歳代	橿原神宮前駅	桜井駅からもバスがあるので便利。
家族	40歳代	橿原神宮前駅	鉄道とのセット券があるので便利。
家族	40歳代	橿原神宮前駅	家族の車送迎が無理だったのでバスで帰宅。
女性	50歳代	橿原神宮前駅	飛鳥駅にタクシーがいるか不安。
女性	70歳代	橿原神宮前駅	免許を持っていないので、バスが無い時は家族に送迎してもらおう。

【自由回答：周知について】

属性	年齢	調査場所	意見
男性	40歳代	飛鳥駅	明日香は、昔ながらのものが残っているのだから、宣伝をうまくやったらいいと思う。

【自由回答：その他】

属性	年齢	調査場所	意見
男性	40歳代	飛鳥駅	西国の寺巡りをしている。壺阪寺から回って来た。
男性	40歳代	飛鳥駅	明日香も大河ドラマと連携したらどうか。九度山の例もある。
夫婦	60歳代	橿原神宮前駅	棚田へ写真を撮りに行く。
夫婦	60歳代	橿原神宮前駅	稲淵へ行く。
女性	60歳代	橿原神宮前駅	飛鳥資料館と飛鳥寺へ行く。
団体等	70歳代	橿原神宮前駅	飛鳥寺、石舞台、川原、橘寺へ行きたい。